Kogakuin University Alumni Association 2020

校友会報

一般社団法人
工学院大学
校　友　会

2020
vol.141

校友会の皆さん

「たまには、のんびりしましょう」

二〇二〇年、

日本一のおんせん県おおいた で

皆さんをお待ちしています。

別府市・湯けむり

第19回 工学院大学校友会 全国大会 大分大会

［開催日］
2020年11月7日(土)～8日(日)

［会場］別府亀の井ホテル
大分県別府市中央町5-17 TEL0977-22-3301

11月7日(土) 16:00～
記念式典・祝賀会

11月8日(日) オプショナルツアー
❶八丁原地熱発電所、九重"夢"大吊橋と湯布院散策 ❷別府地獄めぐり・湯けむり散策と湯布院散策

お申し込みは右記アドレスから http://www.kogakuin-koyukai.jp

湯布院町 辻馬車（由布市）

八丁原地熱発電所（九重町）

宇佐市・八幡総本宮 宇佐神宮（国宝）

九重"夢"大吊橋（九重町）

別府市・温泉街

阿蘇くじゅう国立公園・くじゅう連山

大分市・高崎山

一般社団法人 工学院大学校友会 大分県支部

CONTENTS

ご挨拶

02 一般社団法人工学院大学校友会 会長　田野邊 幸裕
03 学校法人工学院大学 理事長 後藤 治
工学院大学 学長 佐藤 光史
工学院大学附属中学校・高等学校 校長 平方 邦行

イベント報告

04 2019 年度 第 7 回 全国支部長会報告
05 第 7 回社員総会（第 63 回総会）報告
06 わくわくサイエンス祭『科学教室』／校友会ふれあいコーナー開催報告
07 新春の集い 2020 開催報告

学園 TOPICS

08 学園
10 大学
11 附属中学校・高等学校

学生プロジェクト特集

12 学生フォーミュラ／ KRP ／工学院大学ソーラーチーム／ Birdman Project Wendy ／
Science Create Project ／エコランプロジェクト／みつばちプロジェクト／ WA-K.pro ／
KogCoder ／モデルロケットプロジェクト／ Social Data Analysis Laboratory ／
team AI ／ VR プロジェクト

同窓会活動紹介

14 機械系同窓会
15 化学系同窓会
16 電気系同窓会
17 建築系同窓会
18 附属高等学校同窓会
19 専門学校同窓会

支部特集

20 青森県支部
21 静岡県支部
22 北海道支部
23 千葉県支部

各部会報告

24 総務部／財務部／広報部／同窓会組織部／支部組織部／学園連携部

事務局の報告

26 主な行事予定／学生・生徒の表彰報告／受賞報告
施設のご利用について／校友サポートセンター／生涯メールサービス提供のお知らせ

寄稿コラム

28 昭和から平成そして令和へ　落研・遊芸 50 年の総括

学園からのお願い

29 『21世紀工手』育成募金

維持協力会費納入者ご芳名

30 維持協力会費納入者名簿、同協力のお願い

ご挨拶2020

工学院大学校友会会員の皆さまには、ご健勝のこととお喜び申し上げます。また日頃より本会の活動にご理解とご尽力を賜り、感謝申し上げます。

2019年は新しい元号となり、天皇陛下の即位、ラグビーワールドカップなど国内は、大変盛り上がりました。しかし一方、台風や水害が多発し各地で被害をもたらした大変な年でもありました。被災された方々の一日でも早い復興を、お祈り申し上げます。また、令和元年の叙勲で長嶋秀世氏(元校友会会長1964年大学電気工学科卒)、中島淳氏(1969年大学機械工学科卒)、西村武氏(1962年大学建築学科卒)、猪狩正明氏(1969年大学電子工学科卒)の4名の校友が叙勲の栄に浴され、学園・校友会にとり大変うれしいニュースの年でした。

133年の歴史と重みのある工学院大学が更なる発展を目指し、学園と校友会が連携して「現役学生及び卒業生会員のために、私たち校友会は何ができるか」を考えて、まず「財源の確保」を最優先にトライすることとし、下記の4項目を主目標と定めチャレンジを開始いたしました。現在の活動状況を以下のとおり報告いたします。

【(1)財源の確保について】

維持協力会費の新たな納入方法として、みずほファクター代金回収サービスを導入することにしました。その概要は校友会員に口座振替登録をおこなっていただき、登録個人口座より引落す(年1回)仕組みです。これは、振り込みを忘れた・面倒くさい等の意見にお答えして導入いたしました。

【(2)学園・学生への支援・交流の強化】

《第26回わくわくサイエンス祭 科学教室》に積極的に4つのテーマで参加した活動をし、更に「校友会ふれあいコーナー」を設置し情宣活動を展開して、多くの校友と交流ができました。

《ホームカミングデー(HCD)2019》の支援・交流

学園主催の10月27日(日)八王子キャンパスで開催されたHCD2019に、企画段階から積極的に参画いたしました。当初の目標人数を大幅に上回る校友関係者(275名)に参加していただきました。当日の午前中は、「みつばちプロジェクト」と「Science Create Project」の学生プロジェクトの皆さんに、見違えるように変貌した学園施設を案内していただき、久しぶりに八王子を訪れたOBは、感激と学生さんとの交流を楽しみました。若い3人組のOG参加者から「こんな楽しかったホームカミングデー、来年は仲間を増やして参加します」の声をいただきうれしい限りです。アメリカンフットボールの試合を観た校友、若いのは良いな〜、俺もやりたい(偏差値の高い工学院を受験して合格するかな?とのツブヤキ)。

《学生プロジェクト支援》

「みつばちプロジェクト」から採蜜量を確保できるよう、八王子キャンパスに「花の咲く樹木、菜の花の種、ラベンダー等」が欲しいとの学生からの要望を受けて、キャンパスの一角を整備・植樹し、上記HCDにて贈呈式を行いました。今後、学生が中心になって樹木や花の育成管理をするが、校友会西東京支部等が育成・管理の支援をして学生との交流が活性化につながることを期待しています。その他「学生の13プロジェクト」に校友会として、積極的に金銭面の支援と交流を行っています。

【(3)日本全国のネットワークの有効活用】

校友会会員の貴重な情報を、会員同士がお互いに交流・提供し合い、業務等に生かせる仕組み創りを目指します。この校友会ネットワーク支援体制の構築を、鄭副会長中心に新たに校友会顧問に就任していただいた谷政美氏・福田忠彦氏が中心となり、具体的な展開を開始いたしました。

【(4)活躍されている校友を積極的にPR】

活躍している校友を校友会、各同窓会、各支部との連携によって掘り起こし、PRする計画を持っているが、予算が壁となり、情報収集や媒体の整備が具体的には進んでいない状況です。来年度はこの壁を乗り超えられる財源確保等に、皆様方のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

【その他、主な新たな取り組み】

《台湾支部の設立準備》 工学院大学は海外の37機関と国際交流が盛んにおこなわれ、留学生の学生が増加してきている現状を踏まえて、まず卒業生の多い台湾支部を設立する準備を開始いたしました。

《校友会会誌の発刊時期の変更》 これまでの総会に合わせた発刊から、新会員が誕生する卒業式に発刊できるように致しました。母校工学院大学が世界標準の大学を目指している今、工学院大学校友会も理想を高く掲げ、チャレンジしたいと思います。会員の皆様方のご協力と活動へのご参加を、よろしくお願いいたします。

一般社団法人 工学院大学校友会
会長 田野邉 幸裕

新宿キャンパスの改良保全

日頃より学園の様々な活動に支援をいただいていることに御礼申し上げます。

大学では、新宿キャンパスが平成元(1989)年に竣工してから、30年経過したことになります。それにともない、大規模な保全工事が必要になってきています。現在、その最初期の取り組みとして、1階アトリウムの設備更新工事を進めています。この工事にあわせて、最新の映像・音響設備を備えた空間としてアトリウムが生まれ変わる予定です。オリンピックの開催までには竣工する予定ですので、楽しみにしていただければ幸いです。

厳しい財政状況のなか、保全工事を進めていくには、校友の皆様の理解と協力が必要です。この場をかりて改めてお願い申し上げます。

学校法人工学院大学 理事長
後藤 治

四海の友と進む

校友の皆様には、健やかにご活躍のこととお慶び申し上げます。

中期計画・コンパス2023は、建学の精神そのものとそのグローバル展開を主題にしています。多くの学生が海外で学び、また海外からも学生を招くと共に、多数の教員が協定校で講義を成功させるなど、順調に6年計画の折り返し点に向かっています。協定校数も20年前の5倍以上に増加し、学生や研究の交流が実質化しています。もちろん、採択数で全国大学トップに輝いたイノベーションジャパン2019で示されたように、社会・産業とつながる最先端の学問がその礎です。校歌第三番にある掲題のように、世界との協調を基に有意な人材を輩出する本学は、大学院のさらなる充実を含めて発展を続けます。

工学院大学 学長
佐藤 光史

未来にはばたく

校友会の皆さまには平素より附属中学高等学校の教育に対し、ご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。変容するグローバル社会に対して、「Global教育3.0」の進化と深化、さらに拡大を目指して取り組んできました。特に20 ～ 30代の伸び盛りの教師に対して年間通して実施している「タレントグロウスプロジェクト」での成果や「STEAM教育フォーラム」などを目の当たりにしていると、次のステージで新機軸が展開していく予感を抱きます。

そして、生徒のSDGsの活動からは化石燃料に対する探求が深まることは明らかですし、貧困を撲滅するするための起業家精神を養成するプログラムも進行しています。生徒たちは、未来に向けてビジョンを持ち羽ばたこうとしています。

工学院大学附属中学校・高等学校 校長
平方 邦行

2019年度 第7回 全国支部長会報告

支部組織部長　**湯尾 慶一**

1．開催日：2019年5月25日(土)
2．場　所：工学院大学 新宿校舎
3．参加者：
全国支部長…出席42名(代理人3名含む　注：現在47支部)
理事、監事、支部組織部…26名
学園(理事長、校友会担当部長)…3名
出席者 計71名
4．新規設立支部及び新支部長紹介：
昨年は年齢制限や他の事情により、9支部の支部長が交代し、青森県支部が立ち上がりました。

5．討議
下記項目の討議を実施しました。(紙面の関係で全てを記載できず申し訳ございません)

5.-1 全国大会には支部長会を併せて開催希望について
会場の予約が終了しているため、次回大分大会は見送る。継続検討を進める

5.-2 会員名簿の本部よりの提供について
個人情報保護法の関係により、全ての情報提供は出来ないが、問題の無い範囲での提供は可能
また、本部からメールによる支部会員への情報発信は可能

5.-3 全国大会開催間隔
会員相互の親睦機会、費用を鑑みて継続検討。また、他イベント(年次総会等)、ブロック大会等の活用も考える

表１：新旧支部長一覧表(任期：就任時～ 2021年3月31日)　※1 ～ 4は75歳の定年に伴う交代

	支部名	旧支部長氏名	新支部長氏名	卒業年	同窓会
1	相模	阿部　信夫	中里　利男	1979	電気
2	川崎	五十嵐　功	平山　徹夫	1978	専門
3	西湘	山田　雅孝	諸星　佳之	1979	電気
4	京滋	木村　左右吉	若林　貞由	1972	化学
5	北海道	稲田　光男	矢吹　定夫	1980	電気
6	群馬県	村田　敬一	岩瀬　栄子	1970	建築
7	千葉県	來住　康弘	横田　　仁	1973	機械
8	大阪	阿久津　健三	平岡　幸雄	1969	電気
9	島根県	中島　浩司	山根　秀明	1958	建築

表2：新規設立支部　支部長

1	青森県		北川　良治	1973	機械

第7回社員総会（第63回総会）報告

総務部長　**島林 正美**

総会終了後の集合写真

社員総会風景

総会審議採決

優秀学生・生徒表彰

懇親会

一般社団法人移行後、7回目となる定時社員総会が2019年5月26日(日)に新宿校舎3階アーバンテックホールで開催されました。議決権者114名(内、委任状41通)の代議員の他、多数の校友が出席される中、10時30分に開会が宣言されました。審議事項は2件。第1号議案は、今回から任期が2年から4年に変更された次期の理事13名と監事3名に対する提案説明があり満場一致で承認され、続く第2号議案では平成30年度事業報告と決算書が審議され承認されました。続いて報告事項が5件、すなわち次期会長、副会長、各部長、副部長委嘱報告、2019年度事業計画と予算報告、4同窓会長交代報告、支部長交代報告、生涯メール利用申込の件等につき報告がなされた後、2020年11月開催予定の校友会全国大会大分大会のPRが渡邊光治実行委員長(大分県支部長)より行われました。

また、総会の開催に先立ち、この度の代議員選挙で新たに当選された鈴木和夫様が、代議員就任直後の2月に71歳でご逝去されるなど校友ならびに学園の関係者で昨年度ご逝去された方々のご冥福を祈り、黙祷をささげました。

社員総会は滞りなく午前中で終了し、その後は、各同窓会に分かれて同窓会報告会兼意見交換会が開催されました。

各同窓会の報告会兼意見交換会が終了した午後2時20分からは、再び３階アーバンテックホールに会場を移して表彰式を開催し、新たに校友会会長に就任した田野邉会長の挨拶に続き、後藤治理事長の来賓挨拶、佐藤光史学長、平方邦行附属中学校・高等学校校長からは学園近況報告をして頂いたのちに、校友会員表彰(褒章受章者2名への表彰状、退任理事6名、退任支部長5名への感謝状)、及び26名の優秀学生・生徒表彰を行い、ご列席頂いた表彰学生・生徒のご家族共々、喜びを分かち合いました。

午後4時からは中層棟7階の食堂に於いて懇親会が賑やかに催され、旧交を温めると共に、先輩と後輩の新たな繋がりが生まれた場ともなりました。

第８回定時社員総会のご案内

第8回定時社員総会は、2020年5月31日(日)に新宿校舎で開催されます。

10:00 ～	受付開始	(3階アーバンテックホール)
10:30 ～	第8回定時社員総会	(3階アーバンテックホール)
12:30 ～	各同窓会報告会	(同窓会ごとに別会場)
14:20 ～	校友会員、優秀学生・生徒表彰式	(3階アーバンテックホール)
16:00 ～	懇親会	(中層棟７階食堂)

◎定時社員総会の議題案は下記の通りです。

1．2019年度事業報告と決算の承認
2．定款の改正の承認
3．2020年度事業計画と予算の報告
4．全国大会・大分大会 開催の件

◎社員総会・懇親会には全国から代議員や各支部長をはじめとする、多くの会員が集まります。親睦を深めると同時に、会員相互のネットワークを広げることにもお役立てください。

◎全国支部長会が第8回定時社員総会前日の5月30日(土)に予定されています。

わくわくサイエンス祭『科学教室』／校友会ふれあいコーナー報告

夏の科学教室にて、校友が頑張っています!!

学園連携部長　矢ケ崎 隆義

「ルミノール反応を体験しよう」
（化学系同窓会）

工学院大学の科学教室とは

工学院大学が開催している『わくわくサイエンス祭 科学教室（略称：夏の科学教室）』や全国に展開する『出張科学教室』などは、本学園の理科学教育における社会貢献事業の一つです。ものづくりや実験を子供さんたちに体験してもらうことを通して、理科学の面白さや有用性などを知ってもらう理科学教育振興の場を提供するものです。もちろん、事業の展開は、本学園の社会的な知名度や認知度の向上にも寄与しています。併せて、工学院大学は夏の科学教室や出張科学教室を『アクティブラーニングの手法に基づく教育実践プログラム』と位置付け、その企画・運営・実験指導等に大学生や大学院生が積極的に支援参画することが出来るシステムを構築した上で開催しています。これらにより得られた教育成果等を公の場で公開するなどにより、『教育面における他の高等教育機関のグッド・プラクティスとなる事例』として文部科学省などの教育監督機関から認定され、表彰されるに至っています。

「飾り炭を創ろう！」（西東京支部）

第26回『わくわくサイエンス祭 科学教室』が、大学の八王子キャンパスおよび隣接する附属中・高等学校のキャンパスの全域を使って、2019年8月24日（土）、25日（日）の両日、盛大に開催されました。二日間で7,500名以上の子供たちが来場して、80以上も用意された演示テーマでは科学を楽しむ歓声が上がっていました。

校友が子供を連れて！ 校友同士が連れ立って！　来場

今年も多くの校友が来場していました。その中には、校友自身が演示テーマのメンバーとして参画された経験の持ち主も多く、子供さんを楽しませる姿と共に演示参加の学生諸君を懐かしそうに見ている姿が印象的でした。今年の調査では成人来場者の27％が校友であり、年々、その数字が増えています。

校友の演示テーマへの参画！

校友が校友会を介して主体的にかかわる演示テーマが4つ展開されました。①愛知県支部の「君はスーパー竹とんぼに勝てるか！」、②西東京支部の「飾り炭を創ろう！」、③化学系同窓会の「ルミノール反応を体験しよう」、「天気予測ストームグラス」です。いずれも多くの来場者を受け入れ、好評を博しました。

校友会のアピール

今回も、来場者に対して校友会の存在をアピールするために、Cキューブ1階の学生ラウンジに『校友会ふれあいコーナー』を設置しました。

「君はスーパー竹とんぼに勝てるか！」
（愛知県支部）

2020年度の開催休止について

2020年の「わくわくサイエンス祭 科学教室」は、東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴う交通の混乱等に対する安全面への配慮や科学教室の運営の中心となる学生諸君のボランティア活動への参加バックアップのために、開催が休止されます。それに伴い、2021年度に向けて新たな展開をするために、内容等の抜本的な見直しが行われるそうです。

佐藤学長と平方中学校・高等学校校長を囲んで
（校友会ふれあいコーナーにて）

新春の集い2020開催報告

同窓会組織部長　**宮木 義雄**

今年の「新春の集い2020」は、新宿キャンパスのリニューアル工事に伴い、会場を八王子キャンパスに代えて2020年1月13日に開催しました。前日の雨で出足が心配でしたが、当日は天候に恵まれ、351名もの校友･関係者が八王子キャンパスに集まりました。

開宴前の時間を利用し、スチューデントセンター 1階いぶきホールにて昨年世界大会に参戦し奮闘した、工学院大学ソーラーチームよりアクシデントに見舞われる中完走した大会の様子が報告され、会場からは頑張れとの声援が掛けられていました。

報告会後、2階食堂の懇親会場に移り集合写真撮影を行い、同窓会組織部内野副部長より開会が宣言され、深瀬さん・小川さん（高校同窓会）の司会進行でスタートしました。

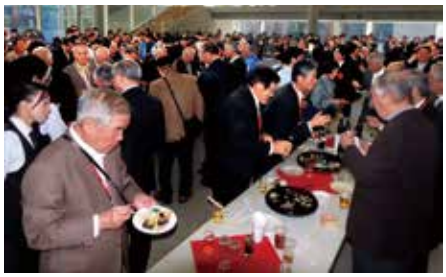
同窓会組織部宮木部長の開会挨拶に続き、恒例のグリークラブOB会、樹輪の会による校歌･学園歌が斉唱され、校友会田野邉会長挨拶、工学院大学玉川常務理事から祝辞を頂き来賓紹介の後、鏡開きが玉川常務理事、佐藤学長、平方校長、後援会 石野会長、PTA 高野会長、校友会 田野邉会長により、小野寺さん（同窓会組織部・化学系同窓会）の『よいしょ !!』の掛け声で行われ、佐藤学長の乾杯で和やかに歓談に入りました。

今回は、音楽を聴きながら美味しいお食事を囲んでの校友とのひと時を楽しんでいただくスペシャルステージが、グリークラブOB会、樹輪の会による美しいハーモニーのコーラス３曲から始まり、初出演となるマンドリンOB・OG会「けむし」の心にしみわたる素晴らしい演奏が行われました。

歓談の中、2020年11月7日・8日に開催の校友会全国大会大分大会の紹介に続き、スペシャルステージ第３幕では、西東京地区を中心にライブや福祉施設での慰問演奏活動を行っている「b` Friends ジャズオーケストラ」による懐かしいジャズの名曲が、会場全体に響き渡る迫力ある演奏で一気に盛り上がり会場から大拍手が沸き上がりました。

恒例の「お楽しみ抽選会」では、校友会による景品に加え大分県支部、校友会有志、校友企業からの沢山の景品をご寄付いただき盛大に行われ、中締めは内野副部長の音頭で江戸一本締めが行われ盛況の中終演となりました。

終わりにこの集いにご参集いただいた学園関係者の皆様、景品やご寄付をいただいた校友・企業の皆様、準備や運営にご協力いただいた同窓会の皆様や個人の方々に心よりお礼申し上げます。



CAMPUS TOPICS
学園トピックス

このコーナーでは、学園、大学及び附属中学校・高等学校の近況をご紹介します。

まず、学園関連のトピックとして、大学新宿キャンパスアトリウムのリニューアル、大学ソーラーチームの世界大会入賞、中高大連携講義の開催、大学建築学部の学生プロジェクトの4件をご紹介します。つぎに、大学関連のトピックとして、先進工学部大学院接続型6年一貫コースの開設、学生プロジェクトによる親子で楽しむ「おふろあそび2.0」の企画・運営、「防災ポーチづくり」実施の3件をご紹介します。そして、附属中学校・高等学校関連のトピックとして、中高生の大山ジビエキーマカレープロデュース、中学生のASLC2019金賞受賞、高校生の国際平和映像祭(UFPFF)2019ファイナリスト登壇の3件をご紹介します。

学　園

2020年「アトリウム」リニューアルで日本初の設備、アイディアコンペを実施

新宿キャンパス1階「アトリウム」が2020年5月末、生まれ変わります。「アトリウム」の中心となるステージ空間では、日本で初めて常設されるキネティック・ウォール(可動式の壁)、映像、音響、照明を用いて様々なクリエィティブ表現を行うことが可能になります。新宿から世界に向けて常に新しいことにチャレンジし、進化・発信していく工学院大学の思想を反映する場となります。

さらに、工学院大学の学生、附属中学校・高等学校の生徒を対象に、この設備を使った創造的な表現を募集するデジタルアートコンペを実施。審査委員長には世界的なデジタルアート集団「MOMENT FACTORY」の日本支社代表・FIOREFRANCESCO氏を迎えます。

2020年3月に実施する第1段階のアイデア審査を通過した団体は、2020年9月に開催される第2段階の実作審査(公開審査)に向けて、株式会社P.I.C.S.のプログラマーやエンジニア、ヒビノアークス株式会社の音響技術者のサポートを受けながら、アイデア実現に向けた開発を進めてもらいます。科学の法則や自然現象のデータの可視化など、今までにない工学院大学ならではの新しい発想・表現が期待されます。

『工学院大学ソーラーチーム』が世界最高峰のソーラーカーレースで5位入賞

2019年10月13～20日にオーストラリアで開催された世界最高峰のソーラーカーレース「2019ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ」に4度目の参戦を果たした『工学院大学ソーラーチーム』は、6日間かけてオーストラリア大陸縦断となる3,000km超を完走し、同大会の冠クラスであるチャレンジャークラス第5位に入賞しました。強豪チームが強風などの影響で相次いでリタイアした中、過酷な環境でも決して諦めず、ソーラーカー「Eagle」で広大なオーストラリア大陸を走り抜きました。

さらに、10月20日に開催された授賞式では、優れた技術を持った車両に贈られる、オーストラリア連邦科学産業研究機構(CSIRO)公認の技術賞「CSIROテクニカルイノベーションアワード」を受賞しました。「ハイドロニューマチック・サスペンション」を世界で初めてソーラーカーに取り入れた業績が評価されました。

紀客員研究員が、附属中高生に ブラックホールに関する講義を実施

2019年6月19日、八王子キャンパスで中高大連携講義「人類が初めて目にするM87ブラックホールの姿」が開催されました。紀基樹客員研究員（研究推進機構）が附属中学校2・3年生、附属高校1・２年生ハイブリットサイエンスコースの生徒達、約300名を対象に、史上初の撮影成功で話題になったブラックホールについての講義を行いました。紀先生は、ブラックホールの撮影に成功した国際研究チームの一員で、2019年4月12日に行われた国内記者発表会にも、メンバーとして同席していました。多くの生徒から「スケールが大きくて、スゴイ」「授業で習っている数学や物理が研究の場で使われていることがわかり、普段の勉強を頑張ってみようと思った」などの感想が聞かれました。

建築学部学生グループが地産地消ものづくりで 附属中高敷地内に木造倉庫を製作

工学院大学建築学部1・2年生を中心とした学生グループ「K×Kプロジェクト」（ケーケープロジェクト）は、八王子キャンパス内に点在する老朽化した倉庫を、学生たちが設計し、10年かけて多摩産の木材を使用した木造建築に建て替えることを目標に活動しています。工学院大学附属中学校・高等学校内に木造の「体育授業用具倉庫」を設計・製作し、2019年12月18日に竣工式を行いました。この取り組みは2017年に八王子キャンパスの倉庫建て替えからスタートし、3棟目となる今回、初めて附属中学校・高等学校の敷地内に建設しました。地産地消のものづくりとして地元多摩産の木材を活用しており、利用者が居心地良く利用できるようルーバーを取り入れた休憩スペースを設置するなど、随所に学生のこだわりが詰め込まれています。宮大工など地元の職人の方々にご協力いただき、伝統的な木構造を実践的に学ぶ貴重な機会となっています。

大 学

2020年4月先進工学部大学院接続型 6年一貫コーススタート

先進工学部では、広い視野と複眼的な思考を身につけたものづくりのプロを養成することを目的に、学部と大学院を一体的に捉える大学院接続型教育プログラムを先進工学部に導入します。従来の専門分野(メジャー)に加えて副専門分野(マイナー)を学修することで、特定分野の専門性だけに偏らない、広い視野や複眼的な思考を養います。さらに6年一貫制の利点を生かして早期に研究に着手するなど、研究開発に携われるだけの高度な実践力を身につけます。

『Science Create Project』と『みつばちプロジェクト』が親子で銭湯を楽しむイベント「おふろあそび2.0」を企画・運営

杉並区にある銭湯「井草湯」を会場に2019年11月11日、親子で銭湯を楽しむイベント「おふろあそび2.0」を開催しました。学生プロジェクトの『Science Create Project（サイエンスクリエイトプロジェクト）』(以下、SCP)と『みつばちプロジェクト』(以下、みつプロ)が企画・運営を行い、2団体の他にも多数のクリエイターが出展し、300人を超える多くの方々に来場いただき子ども達の笑い声と笑顔にあふれたイベントとなりました。

今回のイベントは、親子で銭湯に親しみを持ってもらうとともに、子ども達に楽しみながら科学に興味を持ってもらうことを目的として開催されました。『SCP』はシャボン玉に入る非日常的な経験が出来る「巨大シャボン」、『みつプロ』はみつばちが見ている世界を体験できる「光る水」などをテーマに出展しました。

学園総合防災訓練で“いざ”に備える 防災ポーチ配布

2019年11月28日に行われた学園総合防災訓練で、体験型訓練の一貫として、「防災ポーチづくり」を実施しました。災害が起きてライフラインが止まってしまったときなどに役立つグッズ(歯磨きシート、携帯トイレ、防寒アルミシートなど)を、参加者が専用のポーチに詰めていく企画で、完成したポーチは各自が持ち帰りました。ポーチに詰める10品以上のグッズは、『八王子自治会』の学生達が非常時に起こりうることを考え、必要なものを選定。村上研究室(まちづくり学科)の学生たちも防災・減災を研究している視点からアドバイスしました。また、ポーチは学生プロジェクト『WA-K.pro(ワークプロ)』のオリジナルデザインです。

防災訓練当日、「防災ポーチづくり」は大盛況で、八王子キャンパスでは用意した500個のポーチがほぼすべてなくなりました。新宿のブースにも200人以上訪れました。災害に備えるとともに被災時に必要なモノや対応を改めて考える貴重な機会になりました。

附属中学校・高等学校

工学院大学附属中高生がプロデュースした『大山ジビエキーマカレー』を文化祭で販売

工学院大学附属中高の生徒がプロデュースした鳥取県大山町の特産であるジビエを使った『大山ジビエキーマカレー』を2019年9月21日(土)・22日(日)の2日間にわたり、工学院大学附属中学校・高等学校の文化祭「夢工祭2019」にて販売しました。このカレーは、特定非営利法人very50が提供するSDGsの問題解決を行う探究プログラム(MoG：モグ)に参加した生徒達によって開発されました。生徒達はこの探求プログラムで、約2か月の期間、事前学習として商品開発に必要な知識(マーケティングや企画の方法)を学び、フィールドワークとして現地で大山ジビエの解体現場の見学や、観光客へアンケートやインタビューといったマーケティングを行い、商品開発に活かしました。

生徒達が開発した『大山ジビエキーマカレー』は、若い女性をターゲットに、ケチャップやヨーグルトなどの隠し味でマイルドな味付けにし、盛り付けにはチーズや卵を使って、大山の壮大な雪山を表現しています。

工学院大学附属中学校の生徒が“ASLC2019”で金賞を受賞

工学院大学附属中高の生徒が2019年7月24日～28日にシンガポールで開催された、ASEAN諸国の若者が集まりアクティビティーや議論を重ねながらアジア諸国の課題解決に向けた起業案を提案・発表するプログラム『Asian Student Leadership Conference（ASLC）2019』に参加し、中学2年生による「工学院Juniorチーム」が金賞を受賞しました。今年度の会議テーマ「Building a Supportive Society」に沿ったトピックスについて議論を行い、最終日にアジア諸国の起業家の前で生徒たちが起業案を提案・発表、全31チームの中から本賞受賞となりました。

附属高校の生徒が国際平和映像祭(UFPFF)2019でファイナリストとして登壇

2019年9月15日、JICA横浜にて国際平和映像祭(UFPFF - United For Peace Film Festival)2019が開催され、附属高校1年生の作品「Where Does Peace Come From?」がファイナリストとして上映され、飛川 優さんら生徒6名が登壇しました。国際平和映像祭(UFPFF)は平和をテーマにした映像祭です。違いや共通点を知ることで繋がることと平和実現のために行動することを願い、国連が定めたピースデー（9月21日）に合わせて開催されています。

今回上映された作品「Where Does Peace Come From?」は、級友である中国人の生徒と日本人の生徒がお互いの国の印象について語り合い、平和はどこから始まるのかを考えています。生徒同士が仲良く友情を育んでいる自身の経験から、個人から始まる等身大の平和を表現しました。会場では、全ファイナリスト10作品、監督スピーチと質疑応答、会場の授賞者との交流が行われ、生徒たちは、深い洞察力と事実や知識に基づく創造力を学びました。附属中高は、2017年から同映像祭へ参加しており、ファイナリスト選出は、2018年度に続き、3年連続の快挙です。

工学院大学
学生プロジェクト

工学院大学には、学生グループによる理工学に関する創造活動を行う、学生プロジェクトがあります。大学から施設・設備の提供や活動費の補助を受けて活動している13の団体をご紹介します。
卒業生の皆さん、応援よろしくお願いします。

4 Birdman Project Wendy

2019年8月：科学教室に「ヒコーキって楽しいね！」を出展
2019年9月：鳥人間の技術交友会「電装ゼミ」に参加
2019年9月：筑波大学でHPA交流会に参加
（3年生の引退時期を変更、主翼の製作方法の改良など、2020年鳥人間コンテスト出場に向けて精力的に活動中）

5 Science Create Project

2019年6月：「こどもめばえフェスタ」でワークショップを開催
2019年7月：八王子キャンパスで「第1回ふれあい講座」を実施
2019年11月：みつばちプロジェクトとコラボし、杉並区の銭湯・井草湯で「おふろあそび2.0」を開催
2019年12月7日-8日：「NHKサイエンススタジアム2019」に出展
2019年10月：八王子市内の中学生を対象に出張理科教室を実施

8 WA-K.pro

2019年4月：WA-K.proが「第2回 歩きtecture in 表参道&銀座」を開催
2019年5月：白樺湖・工学院大学学生寮でお手伝い
2019年8月：八王子キャンパスの学生プロジェクト展示スペースを制作
2019年11月：K×Kプロジェクトが中学校・高等学校敷地内に、体育授業用具倉庫を製作

9 KogCoder

2019年6月・8月：オープンキャンパスに参加
2019年7月：ACM-ICPC国内予選出場
セミナーハウス松風舎で夏季合宿
2019年10月：SECCON Beginners CTF 2019出場

10 モデルロケットプロジェクト

2019年8月：能代宇宙イベントを見学
2019年10月：茨城県筑波宇宙センターで実施されたモデルロケット全国大会に参加。高度競技62位（155）、定点着地競技56位（134）

1 学生フォーミュラ（工学院大学レーシングチーム）

2019年3月：自動車部と学生フォーミュラで八王子キャンパスガレージお披露目会を開催
2019年8月：学生フォーミュラ全国大会で、前回84位→35位（90）に浮上

2 KRP（工学院大学ロボットプロジェクト）

2019年9月：“Discovery Hackathon 2019”に参加
2020年12月：学生ロボコン、書類審査通過
2020年1月：1次ビデオ審査通過

3 工学院大学ソーラーチーム

2019年8月：駐日オーストラリア大使館主催「2019ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ 国内出場チーム壮行会」に参加
2019年9月：八王子市長を表敬訪問
2019年10月：3度のトラブルを越え世界大会出場、5位入賞
2019年11月：東京モーターショーのブリヂストンブースに出展
2019年12月：エコプロ2019の帝人ブースに出展

6 エコランプロジェクト

2019年前期：新機体の製作、新入生の研修
2019年11月2日：2019NATS EV競技会に出場

7 みつばちプロジェクト

2019年4月：入学式でハチミツを生協にて販売。ハチミツ入り入浴剤を配布
2019年6月：「エコライフ・フェア2019」に出展
2019年11月：「ジャパンハーヴェスト2019」に出展
2019年11月：Science Create Projectとコラボし、杉並区の銭湯・井草湯で「おふろあそび2.0」を開催
2019年11月22日-24日：新宿祭で模擬店を実施（2群ともオオスズメバチの被害で消滅）

11 Social Data Analysis Laboratory

2019年文科省enPiT主催合宿への参加
ホームページを作成

12 team AI

オープンキャンパス案内チャットボットの改善改良
2019年6月：オープンキャンパスのブースで展示

13 VR プロジェクト

2019年6月・8月：オープンキャンパスに出展
HMD製作など
2019年11月22日-23日：新宿祭で展示

Mechanical system

機械系 同窓会 活動紹介

イベントを通じて人脈づくりを

会長挨拶

機械系同窓会会長の植木です。昨年の5月に発足した新体制で会長に就任し、早1年近くが経過。役員の若返りは組織に新風を吹き込み、ややもすればマンネリ化しがちな活動を活性化してくれる効果があります。私の新任の挨拶で「若い役員さん達と魅力あるイベントを企画し、現役を退かれた方々には更に教養を深める場として、また現役の方々には色々な業界や年代の人々との人脈作りの場として活用し、仕事にも生かして欲しい。そのような同窓会にして行きたい。」と申し上げました。紙面をお借りして活動内容のさわりを紹介しますが、それよりも是非実際に参加してみて、人脈作りにお役立てください。

機械系同窓会
会長
植木 幸裕

活動紹介

報告会兼意見交換会（5/26新宿キャンパス・28階第1会議室）42名出席

新役員20名の紹介、平成30年度事業報告・決算報告・会計監査報告、令和元年度事業計画・予算報告、年間行事予定の説明を行った後、意見交換が行われた。

第14回活躍するOBの報告会　（7/6新宿キャンパス・ファカルティクラブ）35名出席（内学生3名）

講演者：石田英雄氏（機械工学科1970年卒・現校友会愛知県支部長）

演　題：『たかが竹とんぼ、されど竹とんぼ』

副　題：「スーパー竹とんぼ」の飛翔性能に魅せられて

東京都立川市の国営昭和記念公園で開催された全国竹とんぼ競技大会での模様や、制作からスペックに加え飛ばす技術まで、大変興味深く聞かせて頂いた。中でも、竹とんぼは手から離れた瞬間から回転力が低下していくのに対し、プロペラは常に動力が供給され続けるという点で「竹とんぼとプロペラは基本的には異なるもの」という話は目から鱗の感じだった。この実績により、工学院大学の伊藤慎一郎教授の流体研究室で「竹とんぼの飛翔性能の研究」として今年度卒論テーマに取り上げて頂いている。

機機械会　「第7回機機械会」開催（9/2新宿キャンパス・28階第4会議室）　13名出席（内学生2名）

機械系教職員・学生と校友との連携・交流を図る目的のイベントで、通算7回目の開催。講演の後、缶ビール片手に、何でも自由に討論し合う場として開催している。

講師：工学部機械システム　見崎大悟　准教授

演題：「IoT活用に当たり必要なあるべきデザイン思考」

モノづくりやITからIoTへのシフトにおける社会環境の変化が凄まじく、この変化に対応するには今までの考えに基づいたエンジニアリングでは不足しており、デザイン思考を持つエンジニアリングが必要であるという観点から、IoTを活かした質の高いサービス提供に必要とされるデザイン思考について講義をして頂いた。

秋の集い（10/19新宿キャンパス・28階第1会議室）36名出席（内学生10名）

今回の秋の集いはこれまでと趣向を変えて、学生プロジェクトの活動報告とパネルディスカッションを行った。学生PJからは、エコランカー、学生フォーミュラ、鳥人間の3PJの学生が参加してくれて、一柳幹事の司会で活動報告をして頂いた後、久保幹事のモデレータにより、「令和時代のチームマネジメントを考える」というテーマでパネルディスカッションを行った。結果、各PJに共通する課題として、先輩から後輩へのノウハウの継承に課題があることが浮き彫りとなった。また、成果を求めるよりもプロセスを重視するという点でも共通していた。

WSC参戦報告会（12/26新宿キャンパス・28階第1会議室）　29名出席（内学生2名）

講演者：工学部機械システム工学科 工学院大学ソーラーチーム監督 濱根洋人 教授

学生プロジェクト「工学院大学ソーラーチーム」が、2年に1度開催される世界大会「2019ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ（WSC）」に参戦し、5位入賞を果たしたのを祝し、参戦報告会を開催した。

会には同窓会の枠を超え、他同窓会からのみならず、学園からも学務部長にご参加を頂いた。

オーストラリア大陸を縦断すること3,000km超。完走するだけでも困難な過酷なレースに挑み、竜巻などによる2度の横転事故でレース断念まで覚悟した状況からの復活で5位入賞を果たした上に、日本初となるオーストラリア連邦科学産業研究機構(CSIRO)公認の技術賞「CSIROテクニカルイノベーションアワード」を受賞。ハイテク技術を詰め込んだ車体を学生自身の力で作り上げてきたからこそ出来た事故からの復活の話等、参加者と共に感動に浸った。

Chemical system

化学系 同窓会活動紹介

会長挨拶

化学系同窓会では、「化学のタベでの勉強会」「科学教室への参加」「学生への資格奨励制度(2019年度新設)」など、学生・教員・OB・OGとが、お互いにWin-Winになれる関係を目指し、活動に取り組んでおります。同窓会活動に関心のある方は、是非お声掛けください。

化学系同窓会
会長
古川 和弥

化学系同窓会では、化学のタベの開催、科学教室への参加、スポーツ大会への支援を行っております。また、2019年度からは、学生への支援の拡充として、「英語応援賞」を新設しました。

以下に、化学系同窓会の活動内容を御紹介します。

【化学のタベ】

2019年度は、3回の開催となりました。

・ 5月18日／生命化学科　藤井 克彦 教授
・11月16日／環境化学科　岡田 文雄 教授
・12月21日／応用化学科　塩本 昌平 様(博士2年、小林研)

「化学のタベ」では、教員の先生方、学生、そして同窓会員が集まって、本学での技術研究の最新情報や研究室の近況報告、学生諸君の研究発表の練習の場として、和気あいあいと親睦と懇親が出来ると同時に、世代を超えた同窓会員同士の交流を図ったり、時には仕事上の悩みを相談したり、本学出身者同士の仲間意識を醸し出せる場として、同窓会員の皆様に活用してもらう事を念頭に置いております。

【科学教室】

科学教室に、化学系同窓会として参加しており、卒業生・学生のONE TEAMで企画を運営しました。演示テーマは「キミは名探偵！～ルミノール反応を体験しよう！～」が4年目を迎え、さらに今年は「天気で変わる不思議な結晶～君だけのストームグラスを作ろう！～」を出展し、2演示を行いました。

卒業生にとっては、社会人では仲間集めが大変で出来ないことも、同窓会のつてをつかうことで集まりやすくなります。また、学生にとっては、在学中から色々な企業に勤める卒業生から情報を得る機会にもなり、視野を広げることができます。

【スポーツ大会支援】

毎年、八王子キャンパスで開催される学科別のスポーツ大会へ、学生たちの良い思い出作りとなるように支援を行っております。

【英語応援賞の新設】

化学系学科の先生方との意見交換から、2019年度に様々な案の検討を重ね、新設することとなりました。TOEICの取得点数により奨励・報奨金を授与するもので、学生の英語力の向上を積極的に目指してもらう制度です。同窓会から学生への“見える”支援を拡充することで、受賞した学生が卒業した後に、同じことを後輩たちにも還元しようという意識を抱いていただき、同窓会の運営に協力してもらって循環してくれる環境を目指しています。

本件のような新しい企画・活動を少しずつ拡充していく予定です。

Electrical system

電気系 同窓会 活動紹介

会長挨拶

電気系同窓会は、電気電子工学科、情報通信工学科、コンピュータ科学科、情報デザイン学科、システム数理学科、応用物理学科、及び大学院の同窓生で構成され、同窓生数は2020年１月末現在で、約14,400名がそれぞれ各分野で活躍されております。また、毎年学部で約360名、大学院で約70名の卒業生が同窓生として社会に出ております。

電気系同窓会としての主な活動内容は、各分野で活躍されている同窓生の紹介や学園の近況報告等を掲載している同窓会誌「隆星」の発行、学生への支援活動として、学生の資格取得に対する報奨、インターンシップ報告会での優秀者表彰を継続しております。

今後も、同窓生のみならず学生をも力強く支える存在としての電気系同窓会を目指して活動を進めてまいります。

電気系同窓会
会長
島林 正美

校友会とは、我々 OB・OG相互の親睦、連携の推進、ならびに学園の発展に寄与することを願い支援することを目的とした団体（一般社団法人格を所有していますが、いわゆる卒業生の仲良しクラブ）です。その所属組織である電気系同窓会では、さらなる卒業生の連携の強化、ひいては全体としての校友会組織の強化を目的として、種々の事業を行っております。その一つに、在学生への様々な支援活動を実施しております。校友会でも優秀学生の表彰等、同様の施策を行っておりますが、電気系同窓会では校友会とは異なった視点での支援活動を実施しておりますので、ご紹介いたします。

①インターンシップ成果報告会表彰

インターンシップ制度とは、学生に就業体験の機会を提供するものであり、実際に企業に赴かせ、一定期間、職場体験をさせるものです。職業選択、自分の適性の見極めが目的のために無報酬のケースが多く、その点では報酬を受け取るアルバイトとは異なっています。欧米では、大学生の大半がインターンシップ制度を利用しており、日本でも従来から医師の養成や技術系の工場実習などでは実績があり、最近では文科系の学生にも広まりつつあります。一方、企業側でも、優秀な人材確保や、適性判断につながるとして、インターンシップ制度を導入するケースが目立ってきています。

工学院大学では、3年生になった学生たちがこの制度を利用して、主に夏季休暇期間に職場体験をしていますが、その研修成果報告会を実施しています。

我が同窓会では、将来の同窓会員の発表を聴講し、今後社会人としては必須となる「プレゼン技術」に焦点を当て、厳正な審査のもと優秀な発表者を表彰しています。

今年度の発表会は、令和元年11月21日（木）新宿校舎において実施されましたが、同窓会では3名の審査員を派遣し聴講しました。

審査対象は、電気電子工学科、情報通信工学科、コンピュータ科学科、情報デザイン学科、システム数理学科、応用物理学科の6学科で、8時30分から16時45分までの間、5分の持ち時間で69名の発表がありました。

終了後、審査員同士で総合評価、検討の結果、各学科1名ずつ合計6名の優秀発表者を決定しました。

②資格取得報奨制度

この制度は、2015年度から実施し始めたもので、学生が在学中に同窓会が認定した資格試験に合格した場合に、その受験料を報奨金として授与しています。また、技能試験が設定されている場合は技能講習（今年度は5名受講）を開講し支援する制度です。今までの報奨実績は172名で、内訳は以下の表のとおりです。

資格名称／年度	2015	2016	2017	2018	2019	小計
第一級陸上無線技術士	1		1			2
第一級陸上特殊無線技士					3	3
第二種電気主任技術者	1					1
第三種電気主任技術者		4	2		1	7
エネルギー管理士	1					1
第一種電気工事士					1	1
第二種電気工事士	9	5	5	5	8	32
情報セキュリティスペシャリスト試験	1	1				2
情報セキュリティマネジメント試験				2		2
応用情報技術者試験	2	3	3	5	3	16
基本情報技術者試験	16	35	14	24	15	104
情報処理安全確保支援士試験					1	1
合　　計	31	48	25	36	32	172

2020年1月30日現在

プレゼン技術や資格取得は、就活に向けて大きなアドバンテージとなる上に、社会人となってからも大きな武器となります。電気系同窓会は、これから社会進出する学生の後押しを継続していきます。

この制度を、後輩たちが自分の将来に役立ててくれることを願ってやみません。

Architectural system

建築系 同窓会活動紹介

「NICHE出版会」と「建築を保存する会」の2つの活動について

会長挨拶

私たち建築系同窓会の使命は工学院大学を通じて同窓の皆様と社会をつなげ、情報共有のお手伝いをすることです。具体的には「NICHE出版会」による同窓会誌『NICHE』の出版と「建築を保存する会」による白樺湖夏の家の動態保存の２つの活動を実施しています。今後も同窓の皆様が誇れる同窓会を目指してまいります。

建築系同窓会
会長
鈴木 敏彦

■「NICHE出版会」について

同窓の活躍や大学の情報を中心にお伝えする「ダイジェスト版NICHE」と大学の知的資源やネットワークを生かして社会に貢献することを目的とした全国書店発売の「書籍NICHE」の２冊体制となって7年が経ち、徐々に知名度も高まってきています。また、継続的に工手学校の卒業生や先生に関する国内外の研究と資料を掘り起こし、誌面にて発表しています。20年に渡る連載記事の「近代建築を支えた建築家の系譜」で取り上げた「輝かしき先輩たち」は次号で21人目となります。ここ数年、工手学校に関する問い合わせが多く、工手学校の再評価の機運が高まってきています。

本年度発行の『NICHE07』ではイタリアの西岸、地中海の中心に位置し巨石文化や伝統工芸など独自の文化を育んできたサルデーニャ島を取材しました。サルデーニャは日本ではまだ余り知られていません。実際に、NICHE編集部の３週間の現地取材でも日本人をただの一人も見かけることはありませんでした。イタリアの島として多くの人が思い浮かべるのは、国をブーツの形に例えるなら爪先にあり、映画「ゴッドファーザー」の舞台にもなったシチリア島でしょう。サルデーニャ島はフランス領のコルシカ島の南、イタリアのひざ下の南西にある四国の1.3倍の面積の島です。歴史的には地中海の要地として、現在は世界中からセレブリティが夏を過ごしに集まる高級リゾートとして名を馳せています。四方を海で囲まれているため、各地域に根ざした独特の伝統工芸がイタリア本土とは異なる系譜で連綿と受け継がれている地でもあります。先史時代に巨石を積み上げたヌラーゲという古代サルデーニャ人の砦はユネスコの世界遺産にも登録されました。また、内陸部の山岳地域に伝わる仮面と毛皮の民族衣装を身に着けた祭りは、日本のなまはげを彷彿とさせ、古代の息吹を今日に伝えています。この手付かずのイタリアの島を総力取材した特集が、日本とサルデーニャをつなぐ架け橋となることを願っています。

巨石の砦、ヌラーゲ

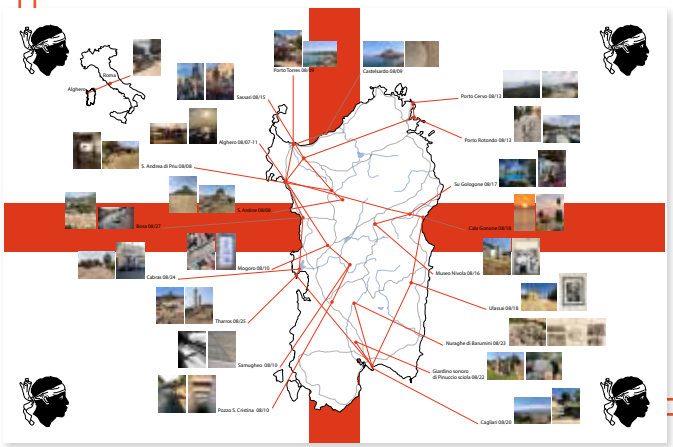


図１：サルデーニャマップ

山岳仮面民族衣装

カステルサルドの籠工芸

■「建築を保存する会」について

「白樺湖夏の家」（長野県茅野市）の動態保存活動が社会的に評価されました。2018年06月に「第4回これからの建築士賞」（日本建築士会）、同年12月に第18回「JIA25年賞」（日本建築家協会）を受賞しました。かつて学生利用者の減少と費用の問題（常駐管理人費と冬期の燃料費）を理由に閉鎖と解体の危機を迎えましたが、建築系同窓会で大学から土地の借地権と建物を引き継ぎ、減築して維持管理してきた甲斐がありました。フィンランドでアールトに学びこの夏の家を設計した武藤章先生の墓前にも、吉報を伝えられる年となりました。2019年7月13日に、25年賞の「白樺湖夏の家」陶板の除幕式を行い、8月31日に本学非常勤特任教授の藤森照信先生を講師に迎えて「白樺湖夏の家／JIA25年賞受賞記念講演会」を開催しました。翌日には藤森先生の案内で、茅野のご自宅と神長官守矢史料館（1991年）、そして独特の茶室3作品の高過庵（2004年）、空飛ぶ泥舟（2010年）、低過庵（2017年）を参加者全員で見学しました。建築に対する果て無き知識とユーモアにあふれる藤森先生と共に、一同、有意義で楽しい時間を過ごしました。大学の一学生寮を、建築の持続可能性を問う、社会的に意義ある場として継承した事を実感しました。

藤森照信先生の作品見学会

「これからの建築士賞」および「JIA25年賞」受賞記念講演会

「JIA25年賞」陶板の除幕式

high school

高校 同窓会活動紹介

会長挨拶

卒業生の皆様、新入生の皆様おめでとうございます。附属高等学校同窓会では、「夢広場」と題する情報誌の発行、生徒のクラブ活動、生徒会活動、海外留学生徒への助成を行っています。また、ホームカミングデーの協力と参加、ホームカミングパーティーの開催、卒業記念品の贈呈、同窓会クラブ表彰の贈呈などの活動をしています。卒業してからの活動として、同窓会クラス委員を選任しましたが、クラス会、同期会、同窓会の情報の橋渡しをお願いしています。皆さんのご活躍を祈念申し上げます。

附属高等学校同窓会
会長
若林 勝司

昨年度、高校同窓会は次のような事業計画に基づき、活動を行いました。

1. **生徒奨励**
2. **学園への援助**
3. **生徒の諸活動への助成**
4. **OB・OG会への支援**
5. **広報ツールの拡充**
6. **クラス委員制度の拡充**
7. **懇親会(八王子)企画の拡充**
8. **おもいでCafe企画の拡充**
9. **同窓会意見交換会の開催**
10. **ホームカミングデーへの協力、参加**
11. **校友会活動への協力、参加**

以上の中から、いくつかの活動を抜粋してご報告いたします。

◆生徒奨励

卒業式で、卒業生(258名)に高級皮革製の「パスケース」(本会の名入り)を贈呈いたしました。また、「同窓会クラブ賞」として高校の部活動(26クラブ)へ図書カードを贈呈いたしました。

◆学園への援助、生徒の諸活動への助成

高校からの援助要請に基づき、クラブ活動や郊外活動への援助・助成を行っています。柔道部の大会遠征費用、野球部の選抜大会へ吹奏楽部やチアリーダーが応援に駆け付けるための費用等を助成いたしました。

◆広報ツールの拡充／会報の発行

昨年4月に会報「夢広場」43号(本誌A4判カラー 16ページ)を発刊いたしました。主な内容は、トピックスとして昨年の校友会「新春の集い」で御祝の獅子舞を披露した囃子連のOBをピックアップ。アーチェリー競技に励むOBや高校バスケットボールクラブOB会「淀橋クラブ」を紹介いたしました。また、現役高校生が海外研修「MoGプロジェクト」で国際感覚を身に付ける様子を特集いたしました。なお、別冊(A4判カラー 4ページ)として会計報告や維持振興基金の寄付者、その他の報告事項や懇親会(八王子)、社員総会・報告会兼意見交換会の案内等をまとめたものを昨年3月の卒業式で配付しております。

◆懇親会(八王子)企画の拡充

八王子における懇親会の名称は「ホームカミング・パーティー」です。このパーティーでは若いOB・OGも楽しめるような飲食物やプログラム進行に力を注ぎました。

なお、新宿では社員総会・報告会兼意見交換会後に懇親会が行われました。

◆おもいでCafe企画の拡充

「おもいでCafe」は本会OB・OG有志が企画運営する特別事業で、高校の夢工祭(文化祭)に出店する喫茶店です。年に一度、母校でOB・OGが集まれる場所として2011年度にスタートしてから昨年度で9回目となりました。学校行事の場なのでメニューはソフトドリンクのみ、これを「ALL100(全て100円)」というキャッチコピーで提供いたしました。

この出店に際しては、学校行事への参加許可と当該教室の貸与等のご配慮を高校からいただいています。あらためて、母校教職員の皆さまへ厚く御礼申し上げます。

◆クラス委員制度の拡充

高校のご協力により、卒業後のOB・OGのネットワークを密にするために「クラス委員」制度を設け、各クラスの代表を選任しています。このクラス委員の中から本会の事業計画を一緒に進める若いOB・OGが育ってゆくことを願っております。

Technical school

専門学校 同窓会活動紹介

会長挨拶

同窓会員の皆様には、日ごろからご支援・ご協力をいただきまして心から感謝申し上げます。昨年5月、渡辺征三会長の後を引き継ぐことになりました相澤良夫です。

会員数も年々減少傾向になってきており、イベントに参加される方々の顔ぶれもほぼ固定化されつつありますが、会員の皆様の変わらぬご支援、ご協力をいただきながら、会員にとって魅力ある同窓会活動の充実と発展のために努力してまいる所存です。

専門学校同窓会
会長
相澤 良夫

2019年度の専門学校同窓会の活動事業は大きく、専門学校同窓会独自事業と校友会協賛事業で、会員相互の交流と親睦を深めることを目的に活動しております。

今年度の同窓会独自事業は、役員会と毎年恒例で実施しています見学会及び研修会は、7月に長野県佐久方面で実施しました。そして、新しい試みとして臺灣研修旅行を9月に実施しました。

また前年度に引き続いて英会話教室を毎月1回実施してきました。

校友会協賛事業は、社員総会(同窓会別報告会兼意見交換会、懇親会)、ホームカミングデー及び新春の集い2020(新年会)に校友会組織の一員としての協賛事業として参加しました。

専門学校同窓会のホームページの編集、公開につきましては、従来、外部業者に委託しておりましたが、ようやく昨年末に同窓会独自で編集、公開をタイムリーに情報発信できる体制を整えることができました。

今後も伝統ある専門学校同窓会活動を継続して活動するために、会員皆様の一層のお力添えをお願い申し上げます。

『専門学校同窓会報告会兼意見交換会』

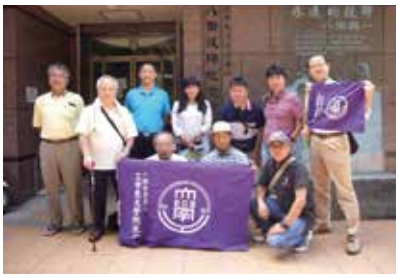
5月26日の第7回定時社員総会開催時に専門学校同窓会報告会兼意見交換会に同窓会員の皆様24名参加していただき、2018年度の事業報告、決算報告、2019年度の事業計画、予算計画を報告いたしました。

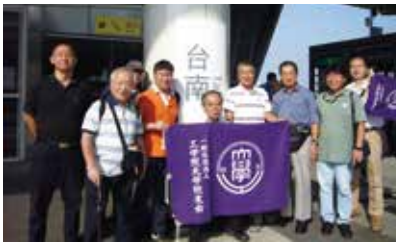
『7月20日～21日長野県佐久方面見学会』

7月20日～21日の1泊2日の日程で長野県佐久方面の見学会を同窓生14名で実施しました。初日は川崎から観光バスで移動して長野佐久グランドホテルで宿泊です。懇親会では、長野県支部の友野稔支部長も参加をしていただき、美味しい料理と楽しい語らいの中で有意義な時間を過ごすことが出来ました。友野支部長ありがとうございました。翌朝は平山さんの体操でひと汗かいて、気分もリフレッシュし美味しい朝食の後『野沢ぴんころ地蔵』と信州・佐久の地では元禄より三百年以上の歴史を持つ『橘倉酒造』で酒造りの工程などを見学し、昼食後帰路につきました。楽しい二日間を過ごすことが出来て幹事の平山さん、櫻井さんありがとうございました。

『9月27日～29日臺灣見学会・研修会』

戦前の日本の技術者による臺灣に残された業績を全身で学習しようと、同窓会のメンバー8人で9月27日～29日の3日間の海外研修に行ってきました。出国は成田空港から空路、高雄まで行きバスで市内見学後、初日は終了しました。2日目は烏山頭ダム(ウーシャントウシュイクー)の見学で、このダムは日本人水利技術者の八田與一氏が作ったダムで八田さんの記念館や再現された宿舎を見学しました。この八田さんは台湾では崇敬を集めている人物なのです。3日目は新幹線で台北まで移動でした、個人的に台湾の新幹線には興味があり乗ってみたいと思っていました。設備は日本が誇る新幹線技術そのものでした。定刻に台北に到着後、中正記念堂などを見学し市内観光ではデパートや書籍店などを見学し市民の生活を体験し夕方の飛行機で台湾松山空港から日本に向かいました。





青森県支部をよろしく。

青森県支部 支部長　北川 良治

平成31年4月、青森県の校友会が再出発しました。皆様のご支援に対して御礼を申し上げます。

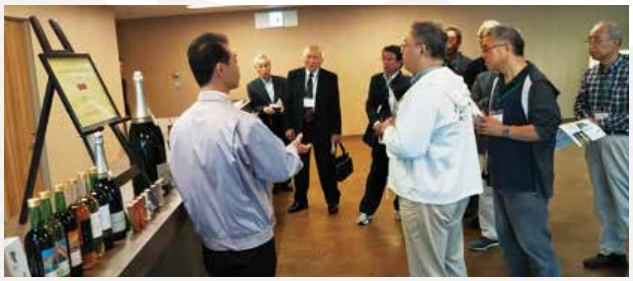
青森県支部は、県の中央を縦断する八甲田山系の東側の下北・上十三・三八の3地区と西側の青北・津軽東・津軽西の3地区、計6地区に分けられています。6地区が順番に担当して、親睦を目的に現地一泊の支部会が開催されています。

6年に一度、担当が回ってきた地区は、地元開催の成功を目指して、地区在住の会員に協力を呼びかけます。支部会担当がきっかけで、会員間の交流が拡大していくことを期待しています。

平成30年9月には、津軽西(中津軽郡・弘前市・西津軽郡)地区の担当で大鰐温泉の青森ワイナリーホテルで開催され、ワイナリー見学会も行われました。

令和元年は、10月、三八(三戸郡・八戸市)地区の担当で太平洋を一望出来る八戸シーガルビューホテルを会場に、開催されました。県内6地区から、ほとんどの方が自家用車で参加します。津軽地方からは車で3時間ほど。地元八戸近郊からは初参加を含め多くの校友が駆けつけてくれました。久しぶりの再会に感激です。

最初に、嶋脇芳勝さんの「蕪島の地名と歴史」と題した講演で、少し賢くなった雰囲気で報告会。そして入浴をはさみ、懇親会がスタート。八戸ならではの料理とアットホームな雰囲気のおかげで、いつの間にか緊張もほぐれ、近況報告と思い出話に花が咲きました。



二次会は、八戸名物みろく横丁を案内してもらえる事になって、ぞろぞろ夜の八戸へ。

地元の校友のご厚意は、特に嬉しいものです。

翌日は、朝食前(5時頃)に日本一の館鼻岸壁の朝市へ出かけ、朝食後も鮫角燈台の見学など八戸を満喫した後、来年の再会を約束し、帰路につきました。

支部復帰をきっかけに、新しい動きがありました。地区内の小イベントを積極的に案内しながら初参加を促そうと、津軽東と津軽西が2地区合同で、夏のビール会や忘年会を企画して、大変喜ばれていました。

令和2年度は「下北一泊観光！」が、実現出来ればと願っています。

最後に、これまで青森県校友会の発展にご尽力いただいた歴代の支部長および会長の方々に対し、会を代表して心から感謝申し上げます。

静岡県支部再出発

静岡県支部 支部長　石神 雅昭

静岡県支部は長い間活動を停止しておりましたが18名の卒業生が発起人になっていただき平成29年12月9日に理事会の承認を得て再設立しました。

平成30年2月18日に第一回の静岡県支部会を開催し下記の新体制で再スタートしました。

〈新体制〉

支 部 長　石神雅昭
副支部長　森田達志
会　　計　梅田　晃
会計監査　横山智明
幹　　事　牧野雄三、杉山正紀
(相談役)　片瀬紘一

平成30年度は、何をしたらよいかもわからず、まずは静岡県支部メンバーの親睦を深める事と来年度以降の活動計画を立てるため下記の活動を実施しました。

また、私の娘が工学院大学に在籍している関係で後援会の静岡県支部との活動も実施しました。

〈平成30年度活動〉

7/7　第一回定時幹事会 支部長会議報告、今年度活動意見交換会、懇親会
11/7　工学院大学後援会静岡県支部就職セミナー参加
12/1　第二回定時幹事会 来年度活動意見交換会、忘年会
3/16　第三回定時幹事会 来年度活動意見交換会 後援会静岡県支部との懇親会

昨年度の活動としては、定時幹事会、校友会との活動以外に第一回の校友会イベント「さった峠ハイキング」を実施しました。

「さった峠ハイキング」では、後援会との合同イベントとして開催し20名(校友会:8名 ご家族:6名　後援会：6名)の方が参加して頂きました。

興津駅に集合してから出発し富士山と駿河湾を一望できるさった峠を目指して出発しました。

当日は残念ながら曇り空で富士山は見えませんでしたが、皆と楽しく3時間かけてハイキングをしてゴールの由比駅近くで桜えびを美味しくいただきました。

〈平成31年度活動〉

7/13 第一回定時幹事会 支部長会議報告、今年度活動意見交換会,懇親会
10/20 後援会との合同イベント「さった峠ハイキング」
11/30 第二回定時幹事会 来年度活動意見交換会、忘年会

昨年度より活動を開始し、幹事会参加メンバーが友人や会社の卒業生等へ校友会の参加を呼びかけて頂き、5名参加者が増えています。

まだ、少人数での活動ですが、今後も皆さんが参加しやすい楽しいイベントを企画し後援会とも連携を取りながら静岡県支部の活動を盛り上げていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

工学院大学校友会 東北・北海道支部交流会に参加して

北海道支部 支部長　矢吹 定夫

全国支部長会議（2019年5月25日・26日開催）の懇親会に出席した折に青森県の北川支部長から東北６県の支部にて毎年、交流会を開催している事をお聞きしました。

北海道支部も是非参加させていただく様お願いをしたところ、快く山形支部の鈴木支部長より案内状をいただき、北海道支部長矢吹と西垣の2名にて山形県支部主催（9月15日・16日）の交流会に参加し勉強をさせていただきました。

まずは、国重要文化財の本山慈恩寺本堂に集合し寒河江市の吉見槇太郎さんの素晴らしいガイドにより建築物、仏像を拝観させていただき、北海道にはない歴史と宗教観を体感しました。

報告会では、校友会支部組織部の小野寺氏より報告があり、各支部より近況報告がありました。

北海道支部の報告としては、「北は稚内市、南は函館市、東は根室市、中央に札幌市とその距離600(Km)と広大な地域に約400名の校友が活躍しています。そこで、例えば北海道支部内に札幌市、稚内市、旭川市、留萌市、北見市、釧路市、帯広市、苫小牧市、室蘭市、函館市等のブロックに分けて各ブロックの中心人物を探しブロック長を担当していただき校友の把握と連絡をお願いする事としたい。東北・北海道支部交流会の参加人数を増やしていきたいと思います。」と報告いたしました。

工学院大学建築学科の鈴木敏彦教授の「建築プロダクトデザイン」と題してご講演をしていただきました。近未来の建築の姿、従来とは違う角度から見た考察手法に興味深く聴講させて頂きました。

次回開催地を青森県支部と決定しましたが、大分県支部にて全国大会（2020年11月7日・8日）が、開催されますので流動的との事でした。

ホテルロビーにて集合写真を撮りました。もう少し若い校友が増えればいいなと思います。

懇親会では、山形名物芋子鍋をはじめご当地の大変美味しい料理と日本酒をいただき各県和やかに交流させていただきました。

二次会まで用意していただき「焼き鳥と漬物」を食べ、ご当地寒河江市の「神興まつり」をほろ酔い気分で観させていただきました。

翌日朝食を食べ、宮城県支部が担当されたゴルフコンペ（天童CC）と希望者のみの山寺立石寺拝観へと解散しました。立石寺は、まるで登山の様だとお聞きし、今回は、遠慮することとしました。

この様に「完璧なスケジュールとおもてなし」を計画された山形県支部の鈴木支部長、桜井副支部長、榊原副支部長、島貫会計、松本会計、濱本監査、渡部幹事、後藤会員、岡崎会員、烏会員、田上会員、木村会員には、感謝を申し上げます。

北海道支部にも開催地が来ることを思うと、観光地も多く広大な北海道のどこで開催するかが悩むところではありますが、支部役員に諮り熟慮したいと思います。

東北６県支部の工学院大学校友のみなさま大変ありがとうございました。

千葉県支部の１年

千葉県支部 支部長　横田　仁

全国の校友会会員の皆様、私は千葉県支部支部長の横田です。千葉県支部の年間の活動を紹介させていただきます。千葉県支部では毎年支部会報を発行しております。1月末から原稿を集め始め、5月中旬にカラー印刷で12頁の支部会報を発行し、発行部数は1000部です。現在千葉県内の校友は約4700名ですが、その内、連絡が取れている約800名の支部会員にこの支部会報を発送しています。また、全国支部長会に参加している支部長や本部役員の方々にも配布しています。内容は、支部報告会及び意見交換会の状況報告（前年度会計報告及び今年度の予算（案）、事業活動報告及び活動計画）千葉県内で活躍している校友や千葉県出身で他支部に在籍している校友の千葉県に対する思い入れなどの寄稿文。また千葉県支部員が近県支部の催しに参加した時の状況報告。そのほか、母校の近況報告など盛り沢山の情報を掲載しております。

一般社団法人 工学院大学校友会
千葉県支部会報 NO.23
新元号千葉県支部もリニューアル
第64回千葉県支部報告会&意見交換会・懇親会開催ご案内

千葉県支部の恒例の活動としては、6月の中旬にはゴルフ大会を開催しており、参加人数は12～20名です。今年は工学院大学システムデザイン専攻教授の新井敏夫先生にも参加していただきました。

7月末にはアーチェリー体験と暑気払いを行っています。参加人数は10名前後で全員が初心者。隣の的では可愛らしい女子中学生が30m先の的に当てているのをしり目に、我々初心者は5m先の的に当てるのも必死。中にはその的さえ外してあらぬ方向へ飛んで行った矢を探しながら優しく接してくれる指導員に感謝しながらの体験会です。

10月中旬には芋ほり&バーベキュー大会を開催しています。参加者数は35名前後です。収穫量は例年1人参加で約8kg、家族参加で約12kgです。バーベキューでは肉、魚介類、酒、最後は野菜たっぷりの焼きそばで腹いっぱいにし、車の運転手はノンアルで、そうでない人はアルコール類を目一杯たしなんでいます。勿論、子供はジュースです。ただ残念なことに昨年は千葉県全域が被害を被った台風15号の影響で、一昨年は天候不順でサツマイモの生育不良と言うことで、2年連続で中止になってしまいました。

12月には居合道模範稽古見学会と体験をし、その後忘年会を開いています。参加人数は体験会に10名前後、忘年会に15名前後です。居合は無外流、錬士六段の岩本莞庵（化学工学科1969年卒）の指導のもと全員汗だくになりながら体験します。その後、体験会に参加できなかった校友を交え忘年会になります。

1月末には新年会を開催します。参加者数は20人前後です。

以上が、千葉県支部の恒例年間行事です。特に、アーチェリー体験、芋ほり＆BBQ大会、居合体験は他支部では体験できないと思いますで、校友の皆様、ぜひ、千葉県に足を運んで参加してはいかがですか。

総務部

総務部長 **島林 正美**

副部長／植木 幸裕
部　員／一柳 裕昭、片原 陽児、久禮 和彦、水口　信、関谷 真一、小口 俊明、井上 博明

総務部は、原則として月１回の定例部会の他に、社員総会時や集中審議の必要性がある場合に臨時部会を開催して活動をしています。

主な業務は、各種規則の制定や定款・規則類の改正に関すること、社員総会開催に関すること、校友会の事業計画に関すること、他部に属さない事項等多岐にわたっています。

令和元年度は、台湾支部設立要望に向けた「支部設立に関する規則」の改訂を行うと共に、同窓会運営規則と支部運営規則の根本的見直しのための運営の現状確認や保有状況の確認を実施し、さらには、公開セミナー実施に向けた構成や目標等、企画案策定のための仕様作成を行っています。今後は、公開セミナーの開講に向けて全力で邁進いたします。

今後、我が校友会がもっと輝いて魅力ある組織となるよう、校友の皆様からのご意見を頂きつつ、メンバーが一丸となって活動してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

公開セミナーのお知らせ

「工学院大学校友会公開講座」
ビジネスに活かす人工知能

日　時　2020年4月15日～8月19日
　　19:00～21:00
場　所　工学院大学新宿キャンパス
受講料　10,000円（5講座分）

第1回　人工知能入門（4月15日）
第2回　ネット情報を用いた人間の嗜好分析（5月20日）
第3回　自動運転で人類を救う・世界を変える（6月17日）
第4回　脳科学と人工知能（7月15日）
第5回　人工知能は人間を越えられるか（8月19日）

財務部

財務部長 **佐藤 弘規**

副部長／川島 久宜
部　員／小川 文夫、山口 和男、新海 昌美、高木 雅行、太田 正利、駒崎 健一、
アドバイザー／相澤 良夫

財務部は校友会の財産を守ると共に、収支バランスを見つつ、学園に継続的に寄附を行う健全な財務体質を目指して活動を行っております。

1．校友会会計チェックの実施

四半期ごとの決算書において、校友会の財産が適正に経理 処理されていることを確認し、かつ各部の事業予算の執行状況の確認を実施。

2．新しい維持協力会費納入方法の実施

現在、維持協力会費の納入方法は郵便局での振込用紙による振込と事務局への現金払いですが、近年財務部で検討を重ね、新たな納入方法として来年度から預金口座振替サービスの導入を行います。

預金口座振替制度とは、ご家庭の「電話料金」「電気料金」等と同じ様に、校友の皆様の預金口座から校友会の維持協力会費を、自動引落しさせていただく制度です。引落金融機関はほとんどの金融機関で引落可能です。

メリット：

- 金融機関に行かずに振込可能
- 振込と違って振込手数料が不要
- ご利用のメイン口座を指定可能
- 通帳・照合表に校友会の記録が残る
- 郵便局の振込よりも安い手数料

まずはご契約の金融機関に振替申込としてご提出いただき、その際、３枚綴りの「②貴社（委託者）控」を必ず校友会事務局宛にご提出ください。

維持協力会費として１口3,000円以上、1,000円刻みでのご登録を別途校友会事務局にお願いいたします。

3．今後のお願い

校友会員の皆様は終身会員ですが、会費納入率が低いため、近しい校友の皆様に預金口座振替サービス登録のご協力をお薦めください。新規卒業生には卒業と同時に登録いただき、新規校友会員となった時点で校友会への維持協力にご協力をお願いします。

広報部

広報部長 **関谷 源次**

副部長／平山 徹夫
部　員／唐鎌 貞郎、坂口 教子、茅野　昭、名取 勝敏、新海 俊一、田中 元樹、山上 祐介、甘粕 一彦

広報部は、1．校友会報の発行　2．校友会ホームページ（Webサイト）の更新、管理が主な活動として行っております。

広報部の活動を通し、校友会会員の皆様に校友会活動の情報を発信していきます。

1．校友会報の発行

年1回の発行物である「工学院大学校友会報」は、学園の卒業生が、学園の活動状況や現況、イベント報告、各同窓会、各支部等の情報等の情報を分かり易くお伝えするよう部員一同、編集作業に取り組んでおります。

また、予算削減に務めページ数の削減とコンパクト化により予算削減を図っております。

それにより、より読みやすく、手に取っていただき校友同士の幅広いつながりや交流の一助となるような広報づくりをしていきたいと思います。

2．校友会ホームページ（Webサイト）の更新、管理

校友会ホームページを定期的に更新し、校友会や学園のイベント、各同窓会、各支部、OB・OGからの様々な活動情報を紹介していきます。それによりイベントへの参加、校友会同士の交流を促進できるような情報をより多くの校友会員に、PCやスマホでも見やすく、そして分かり易く閲覧できるよう、リアルタイムに紹介していきたいと思っております。

同窓会組織部

同窓会組織部長 宮木 義雄

副部長／内野 正之
部　員／成田　治、小野寺 康、小沢 和重、唐崎 幸弘、鈴木 敏彦、萱沼 宏記、田中 元樹、近藤 松男

同窓会組織部は、新春の集いの企画・運営、学術講演会の企画・開催、各種交流活動への支援などの活動を行っています。

1．新春の集い2020

今年は、令和2年1月13日(月)に会場を八王子キャンパスに代えて若年からシニアまで多くの校友が集い盛大に行われました。(詳細は7ページ)

2．校友会員交流会「サタデートーク」

第4回として、昨年11月23日(土)に「人工知能と対話ロボット」と題し工学院大学情報学部システム数理学科教授大和淳司先生をお迎えし興味深い講演テーマでOB・OGの中堅技術者やシニアを対象に開催しました。

3．同窓会、同好会等の各種交流活動への支援

各同窓会で開催した「活躍するOBの報告会」、「化学の夕べ」(教員・学生・OBによる講演会)、「活動報告会兼意見交換会」、「白樺湖夏の家『JIA25年賞』受賞記念講演会」、「野沢ぴんころ地蔵・橘倉酒造見学会」、「ホームカミング・パーティー 2019」などの紹介を行いました。

校友有志が企画した、校友・学園関係者なら誰でも参加できる「蕎麦打ち会」と本学を卒業し落語界で活躍する三遊亭美るくさんの落語とのコラボ企画への校友参加を支援しました。

支部組織部

支部組織部長 湯尾 慶一

副部長／櫻井 良尚、中尾 英明
部　員／横田　仁、三田 一男、白井 精滋、小野寺 康、菊川　亘、中里 利男、小林 将夫、小林 保男、岡安　彰、
アドバイザー／上野 耕平

支部組織部は、各地域支部の活性化を目的に活動を行っています。

1．新規支部設立への協力

2019年度は新規立ち上げの地域支部は無く、現在47支部となっています。引き続き支部設立の支援活動を進めます。トピックスとしては、台湾支部の再立ち上げに向け活動を実施しています。

2．全国支部長会議

5月25日に全国支部長会議を実施しました。42支部の支部長が参加し、本部、学園からの最新情報を共有し、また各支部の問題点等を議論しています。

3．支部活性化への活動

支部組織部員が各地区支部の報告会兼意見交換会に参加し、学園の近況や校友会の活動状況、他支部のイベントなどを紹介し、本部と支部との情報交換を行なっています。(35支部を訪問)

資金面では支部活動支援金の交付を行なっています。

4．全国大会開催支部への支援

今年11月の「大分大会」に向け、大分県支部と協力し、準備を進めています。また2023年度に開催される次の全国大会に向け、各支部と調整をし始めています。

5．学園と地域支部との連携支援

「わくわくサイエンス祭 科学教室」で「君はスーパー竹とんぼに勝てるか！」(愛知県支部)、「飾り炭を作ろう！」(西東京支部)のサポートをしています。

学園連携部

学園連携部長 矢ケ﨑 隆義

副部長／若林 勝司、長谷川 努
部　員／木下 幸秀、志村　豊、望月 千尋、大向　嵐、勝谷 尚武、加藤　滋、小川　隆、田中 元樹、篠崎 秀夫

学園連携部は、学園・学生・生徒との連携強化事業と、学園や在校生に対する各種支援事業とを積極的に推進、さらに新しい連携や支援の在り方を模索、具体的な展開も試みました。

1．優秀学生・生徒の表彰・奨励支援金授与事業

大学院、大学、中・高等学校にて優秀な成績を収めた学生・生徒に対し、表彰と奨励金を授与しました。

2．学生・生徒への助成金交付事業

従来の助成金交付(4件)に加え、今年度より「学生プロジェクト」への支援を強化し4件の交付を行いました。

3．わくわくサイエンス祭「科学教室」参画事業

校友主体の3件のテーマにて参画、また「校友会ふれあいコーナー」を設置して来場者との交流を図りました。

4．ホームカミングデー開催支援事業

主催する学園に対し、企画及び開催の準備・運営と寄付などの支援を行いました。また、独自企画として地方支部の支援による「地酒バー」を設けました。

全国の支部の支援による「地酒バー」開催
(ホームカミングデーにて)

5．後援会との協働支援事業

後援会開催の就職講演会に、校友を演者として派遣する就職支援事業を栃木県及び北海道にて展開しました。

6．大学の「学生プロジェクト」活動支援事業

「みつばちプロジェクト」との交流強化の中で、①植栽支援事業を行うと共に、②活動への参画支援を開始しました。

7．その他の事業

○学園グッズ事業、○キャンパス内校友会常設情宣システム設置事業、等

◆2020年度校友会主な行事予定

なお、下記の予定は日付や会場が変更になる場合がありますので、イベントの前には必ず校友会ホームページにてご確認下さい

開催予定日	行事内容	開催場所 (変更になる場合があります)	問い合わせ先
5月30日(土)	2020年度全国支部長会	新宿校舎	**校友会事務局** 電話　03-3342-2064 03-3340-1649 fax　03-3342-2035 e-mail：jimukyoku@kogakuin.or.jp
5月31日(日)	第８回社員総会 (同時開催：各同窓会報告会・懇親会等)	新宿校舎	
11月7日(土)～ 11月8日(日)	第19回全国大会大分大会	別府亀の井ホテル	
1月10日(日)	新春の集い2021	新宿校舎	
3月中旬予定	学術講演会	新宿校舎	

◆2019年度 表彰学生・生徒

学校	学部	学科	学年	氏名
工学院大学	大学院	機械工学専攻	2年	射水　亮
工学院大学	大学院	化学応用学専攻	1年	大竹　薫
工学院大学	大学院	電気・電子工学専攻	1年	桑原　尚人
工学院大学	大学院	情報学専攻	2年	和田　歩
工学院大学	大学院	建築学専攻	2年	櫻本　敦士
工学院大学	大学院	システムデザイン専攻	2年	川島　弘貴
工学院大学	工学部	機械工学科	2年	桑原　慶悟
工学院大学	工学部	機械システム工学科	2年	白川　和磨
工学院大学	工学部	電気電子工学科(電気システム工学科)	4年	白石　智之
工学院大学	情報学部	情報通信工学科	4年	蔀　竜太
工学院大学	情報学部	コンピュータ科学科	4年	江崎　佑太
工学院大学	情報学部	情報デザイン学科	4年	武内　慎悟
工学院大学	情報学部	システム数理学科	4年	石毛　優紀
工学院大学	建築学部		2年	亀井　遥菜
工学院大学	建築学部		2年	千島　夏輝
工学院大学	建築学部		2年	山口　美海
工学院大学	先進工学部	生命化学科	2年	千野　聡也
工学院大学	先進工学部	応用化学科	2年	辻　寛美
工学院大学	先進工学部	環境化学科	2年	松本　慎史
工学院大学	先進工学部	応用物理学科	4年	横山　晴香
工学院大学	先進工学部	機械理工学科	2年	丸山　拓己
附属高等学校		普通科	2年	髙橋　七海
附属高等学校		普通科	3年	中山　慶生
附属高等学校		普通科	3年	古畑　翔大
附属中学校			2年	本島　紗羅
附属中学校			3年	小川　玲奈

訃　報

謹んでお知らせいたします。
ご冥福をお祈り致します。

鈴木 和夫 氏　2019年2月10日 ご逝去
大学機械工学科1970年卒
氏は校友会の代議員を務めておられました。

佐野 吉彦 氏　2019年8月5日 ご逝去
専門学校建築科1957年卒
氏は工学院大学専門学校教員を務められました。

口元 恵策 氏　2019年8月18日 ご逝去
大学建築学科1971年卒
氏は熊本県支部長を務めておられました。

◆受賞報告

令和元年春の叙勲において中島淳氏(1969年大学機械工学科卒業・2002年大学院電気電子工学博士課程修了)が、旭日中綬章(弁理士業務功労)の栄誉を受けられました。平成16年の黄綬褒章に続き2度目の受章です。氏は永年弁理士業務(太陽国際特許事務所代表)に携わり日本弁理士会会長・内閣府知的財産戦略本部員等歴任し、現在は日本知財学会の副会長として活躍されています。また1992年より本学の非常勤講師を務められ、現在は特任教授として指導を続けられております。

令和元年秋の叙勲において工学院大学名誉教授・元校友会会長の長嶋秀世氏(1964年大学電気工学科電子工学コース卒業・1966年大学院電気工学専攻修了)が、瑞宝中綬章(教育研究功労)の栄誉を受けられました。氏は東京工業大学での助手を経て、1970年より2008年まで工学院大学で教鞭をとられ、その間教務部長・主任教授・常務理事・副学長などを歴任されました。

更に2004年からは社団法人工学院大学校友会の会長として、学園との橋渡し役に加え、多数の教え子の皆さんとともに校友会活動を活発化させ、また法人改革による一般社団法人への移行にも力を尽くされました。

令和元年秋の褒章で、元北海道支部長西村 武 氏(1962年大学建築学科卒業)は黄綬褒章の栄誉を受けられました。57年間以上の長きにわたり建築設計監理業を中心とした建設業に従事され、北海道のまちづくりに貢献しつつ、(一社)北海道建築士事務所協会会長など関係団体の会長や全国団体の副会長を歴任し、業界の発展に尽力されたことによって今回の受賞となりました。現在も西村建築設計事務所の会長として活躍中です。

令和元年秋の叙勲で、猪狩正明氏(1969年大学電子工学科卒業)は、旭日小綬章の栄誉を受けられました。氏は猪狩自動制御設計株式会社の代表取締役社長を務める傍ら、福島県法人会連合会の会長として納税意識の醸成、電子納税申告制度普及等の活動を率先推進し、その納税成果により国家財政寄与に対する納税功労者として今回の受章となりました。現在本業の会社では自動生産システム開発などで、海外への輸出展開を推進されています。

◆施設のご利用について

ファカルティクラブのご利用について

新宿校舎中層棟8階にあるサロン調のファカルティクラブは、会員の方がご使用の際に、校友会事務局経由で利用申し込みをされた場合には、利用料が無料となります(卒業生同士の使用・50名程度まで)。同窓会、支部・クラス会、懇親会等にご利用ください。ご利用のお申込みは、校友会事務局にお願いします。校友会HP（申請・届出フォーム）からも申し込みができます。

お申込み後、事務局から利用可否を返信いたします。

校友会談話室のご利用について

新宿校舎の高層棟28階にある校友会談話室は、校友会員間の親睦や同期会、サークル等でご利用いただけます(16名程度まで)。日曜日・祝祭日・学園休日を除く9時から17時までご利用可能です。セルフサービスのコーヒーを用意しておりますので、会員の皆様が東京・新宿においでになった際は、どうぞお立ち寄りください。

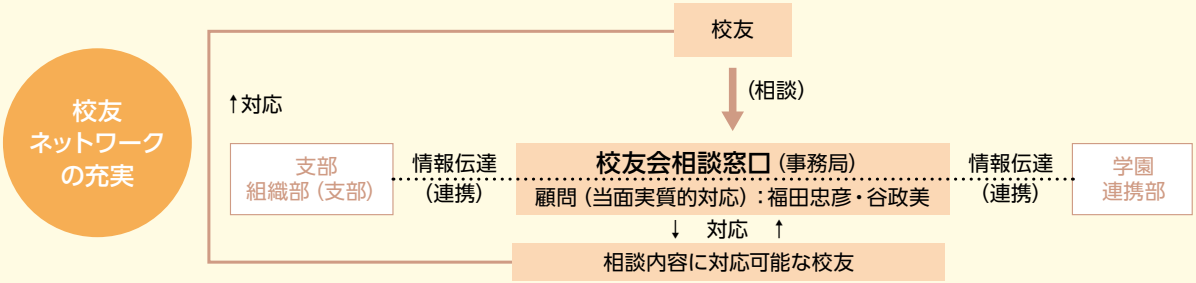
ご利用のお申し込みは校友会事務局にお願いします。校友会HP（申請・届出フォーム）からも申し込みができます。

お申込み後、事務局から利用可否を返信いたします。

校友会に「校友サポートセンター」を開設します!!!

1. 趣旨　日本全国で活躍している“校友と言う素晴らしい財産”を活かしたネットワークを全国支部と一体になり構築・運営する。
2. 目的　●学園の130年余の歴史と伝統を誇りとし、更なる発展を目指して学園と校友会が連携して「学生及び校友会員のために、校友会は何ができるか??」に挑戦する。
   ●具体的な成果を上げ“学生や校友から信頼され頼りにされる校友会”を目指す。
3. 対象　①校友　②仕組み成熟後は学生及び御父母も対象としたい。
   対象者は校友サポートセンターに対し相談や支援を依頼したい時、**事務局**又は**顧問**に対し、**電話・FAX・メール・手紙・訪問**など可能な伝達手段を使い気軽に用件を伝達する。
4. 運用　相談・問合せの具体例
   ●自分のテリトリー以外で仕事をすることになったが、当該地区で協力してくれる校友は居ないか。
   ●技術的難題の相談に乗ってくれる校友は居ないか。　●このような起業をしたいが、相談に乗ってくれる校友は居ないか。
   ●人生の先輩としてアドバイス（失敗や成功の経験）を受けることも可能か…。
   ●地元に戻りたいが、当該地区に強い校友は居ないか。
   などなどの相談・問合せが校友サポートセンターにあった場合、窓口で、対応してくれる支援者を探索・確認をして、発信者に情報を伝達または紹介する。　注）相談・問合せ者の個人情報については厳格に対応する。

校友サポートセンター [情報の流れイメージ]



◆生涯メールサービス提供のお知らせ

(学)工学院大学では学園や校友会からのお知らせや利用者間のコミュニケーション手段として2019年3月より生涯メールサービスの提供を開始しております。校友の皆様も申請頂くことによりご利用できます。

対象者
- 大学・附属中学校高等学校・専門学校の卒業生
- 大学院の修了生
- 専任教職員

メールアドレス

メールアドレス1
(ローカルパート)@ g.kogakuin.jp

メールアドレス2
(ローカルパート)@ kute.tokyo

※２つのメールアドレスが利用可能ですが、どちらのメールアドレスも同じメールボックスに届きます。
※ローカルパートは申請時に希望を申し出ていただきますが、先着順となるため重複時は調整となります。

申し込み方法

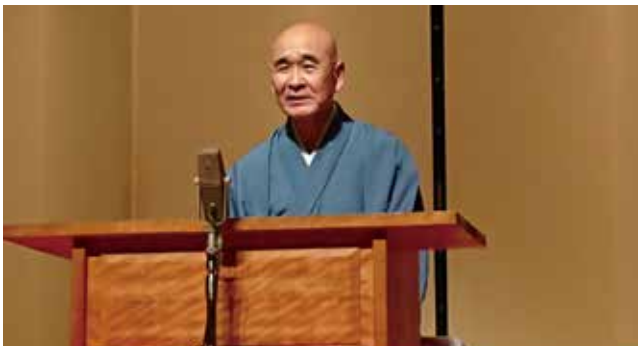
学園ホームページにある「生涯メール利用案内」をお読みの上、電子メールもしくは郵送にて校友会事務局までお申し込みください。その際、氏名、希望ローカルパート(3つ)、卒業学校(学部学科)、卒業年、本人確認書類(運転免許証、健康保険証など氏名、生年月日、住所記載の公的証明書)のコピー、校友会員番号が必要となります。郵送の場合は送付先の郵便番号、住所、氏名(本人)を記載の上、所定の切手を貼った返送用封筒(長4が望ましい)も同封してください。

学園ホームページ　生涯メール利用案内
https://www.kogakuin.ac.jp/ict_support/

申込み・問合せ先
工学院大学 校友会事務局
E-mail: jimukyoku@kogakuin.or.jp
住所：〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2

昭和から平成そして令和へ 落研・遊芸50年の総括

さまざまなクラブ活動が、時代の流れの中で、新しく立ち上がったり、廃部になったりしました。
落語研究会も今では廃部になってしまったクラブですが、OB会は毎年定期落語会を開催し、今年で50回となるそうです。
落語研究会に所属していた2名のOBから近況や当時を振り返ったコラムをいただきました。



『笑いが健康の源！』

昭和48年 機械工学科卒 **荒井 敬三**（芸名：めずらし家　芝楽）

工学院大学の落語研究会（落研）は既に廃部となっているものの、OB会は創設55年に至り、毎年6月に「定期落語会」を開催し今年で50回を数えました。

また、2018年の新宿祭では「工落亭」（落研運営の寄席）を復活させ、OB会としての参加を実現しました。

時は1964年の東京オリンピック開催に向けた東海道新幹線・東名高速道路…から好景気の時代を迎えました。

私（1973年機械工学科卒）は新宿校舎の教室から建設中の京王プラザホテルの現場に向かって一人黙々と落語の練習、末には名人と言われる夢を見ていたのであります！

3学年次には、各大学の落研から選抜、召集された20名程が渋谷の西武デパートに集合、その中に主人公（めずらし家　芝楽）他同輩も出向くことになりました。

その中には当代の柳家権太楼や春風亭小朝等も召集され、我が同輩も林家三平さんに弟子入りと相成りました。

私は里に帰り母上に「俺も噺家になる！」と説得も、母上は「お前は、噺家にしちゃ、いい男過ぎる！」？の一言で撃沈。結果、「物流商社」に入社して会社生活36年を含めて、素人落語・遊芸50年！に至り、現在もボランティア活動も含め皆さんに親しまれて活動しています。

詳細は同年2020の機械系同窓会誌　KUMEA掲載

『人とチョット？違った生き方』

昭和48年 建築工学科卒 **寺田 博明**

高校時代に「落語研究会」を作り、活動しながらも工学院大学建築科に入学。当然、落研に入部した傍ら4年間学び1部上場の建築会社に入社しました。

在籍5年で10現場以上担当した時期に、ある☎が、高校時代の友人（お笑い芸能作家）から誘いの電話でした。

ついに芸能の道へ、別世界に入り下積みを重ねTVの「夜のヒットスタジオ」にも出演するまでに至りました。その後、高校から大学までの7年間培った伝家の宝刀「落語」の世界へ、三遊亭圓楽（星の王子様）の門をたたき入社。弟子の楽太郎（現・6代目圓楽）の担当になりました。

その後、5年程経過して師匠より「寺田君、君は建築科だったよね。私は寄席を作るので、君！建ててくれないか。そして、支配人になってくれないか！」と突然要請！

勿論、「がってん！承知の助！」落研の建築仲間で6階建ての「寄席若竹」（江東区東陽町）を完成。4階に私達家族で住み込み、昼夜関係なく多忙な時をすごしました。

しかし、寄席経営は圓楽一派でも無理があり、解雇に至りました。

そして、昭和天皇崩御の1月（昭和64年）に5年間住み慣れた東陽町から、実家の川崎に帰りました。

暫くして、東宝名人会の支配人の道江さんから、本牧亭（講談の唯一の席）の支配人の推薦を頂き、圓楽師匠からも太鼓判を頂戴しました。

そもそも、江戸中期、軍団読みとして演芸のトップにいた講釈師。その席である講釈場は都内に数百席。しかし、時代と共にシンプルな落語が中心となり、戦後は落語の寄席が5，6席あるのに講釈場は本牧亭だけになってしまいました。

昭和38年安藤鶴夫の「巷談本牧亭」が直木賞を取り、一時本牧亭ブームになりました。しかし、時世の流れは止められず、プロ芸人発表の場、月に10日の講談席は、平成2年2月10日幕となりました。

その後、15年間の支配人を務め、現在「オフィス寺子屋」を立ち上げ、お笑い関係を中心に芸人の手配、プロデュースを続けています。

学園からのお願い

『21世紀工手』育成募金にご支援ください

学校法人工学院大学
理事長　**後藤 治**

学校法人工学院大学のルーツである工手学校は、1887(明治20)年10月31日に創立されました。

時の明治政府は、近代国家として欧米諸国に追いつくために、国づくり政策として富国強兵を掲げ、農業立国から工業立国への脱皮を急いでいました。国が工業化してその目的を果たすには、専門的知識を身に付けた現場に携わる技術者が不可欠でしたが、その不足が大きな障害となっていました。

そのため創立者渡邊洪基と14人の発起人により、工手学校が設立されたのです。「工手」は、その時に必要な技術者を表すための、渡邊らによる造語です。

本学は、2017(平成29)年10月31日に創立130周年を迎えました。それを機に、創立150周年に向けた長期目標「Vision 150」を改正し、新たな中期計画「コンパス2023」を策定しました。新たな中期計画では、先人たちが連綿として築き上げてきた建学の精神を受け継ぎ、グローバル社会の第一線で活躍できる理工系人材の育成、並びに、先端領域で創造能力を発揮する高度な技術者・研究者の育成、を改めて掲げています。

本学は、創設以来、多くの優秀な技術者を送り出してきましたが、新たに掲げた育成すべき人材の姿は、この21世紀という時代にふさわしい現代の「工手」＝“21世紀工手”といえるのではないでしょうか。

そのため、本学では、理想とする『21世紀工手』の育成をする一助とするべく、募金活動を開始することといたしました。関係者の皆さまには、なにとぞ、活動の趣旨にご賛同いただき、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

『21世紀工手』を目指す学生•生徒に、創造力・応用力•発想力等の各種の力を高めてもらうため、本募金は「学生・生徒の自主・創造活動支援」、「教育・研究環境の整備」、「奨学・奨励・支援」の3つの事業に役立てます。

ご寄付お手続きのご案内

■お振込み

お近くの金融機関から以下の口座にお振込をお願いいたします。

口座名義	学校法人工学院大学基金口
振込先口座番号	三菱UFJ銀行　新宿中央支店　普通 5810141
	みずほ銀行　新宿西口支店　普通 1162718

本学所定の振込用紙をご利用して三菱UFJ銀行・みずほ銀行の本支店でお振込みされた場合は、お振込手数料無料です。

＊振込用紙のご請求は、以下の新宿総務課までお願いいたします。

◎大学のホームページを通じてインターネットからのお申し込みも受け付けております。
　トップ画面の検索機能より「21世紀工手育成募金」でご検索ください。

■税制上の優遇措置について

本学が発行する「寄付金受領書」にて、税額控除を受ける事ができます。

■問い合わせ先

学校法人工学院大学　総務・人事部総務課
〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2
TEL：03-3340-0121　FAX：03-6645-0228
メールアドレス：donation@sc.kogakuin.ac.jp

維持協力会費納入者ご芳名

日頃より校友会活動にご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。
維持協力会費納入のお願いに際しましても多大なご協力を頂きありがとうございます。
おかげさまで、2020年1月末までに831件3,358,993円のご協力を頂きました。
校友会活動や学園及び学生支援に運用活用しておりますことをご報告申し上げます。

2019年2月～2020年1月までに維持協力会費を納入された方々のお名前を同窓会別、卒業年順に掲載しております。
敬称は省略いたしました。
複数の同窓会所属の方は振込票の会員番号の同窓会に掲載いたしました。

機械系同窓会

1944 舛井 寛一
1952 田島 邦久
1955 吉川 孝之
1956 朴 南錫
1956 横地 良成
1957 小川久二男
1957 柿木 秀燁
1957 仲田 粂男
1957 岡田 明
1957 古田 実
1958 海老澤 雄
1958 金井 誠之
1958 斎田 三郎
1958 伊藤 正
1960 小沼 義郎
1961 小林 俊二
1961 渋谷 博明
1961 高橋 淳
1961 横松 壽二
1962 猪狩 一守
1962 齊藤 四郎
1962 関谷 敷
1962 福田 忠彦
1962 宮内 保幸
1962 宮野 昇
1962 森川 勇
1962 吉川 和彦
1962 松浦 勝義
1963 返町 功
1963 草間 祥介
1963 鈴木 陞
1963 馬場 靖孝
1963 日野 岩雄
1964 笠原 又一
1964 山梨 利夫
1964 花城 浩
1965 岩田 秀明
1965 岩本 英征
1965 小林 朗
1965 白木信二郎
1965 関谷 重彦
1965 田中 英生
1965 酒井 康雄
1965 志賀 剛
1965 鈴木 肇
1965 田辺 英孝
1965 弓削 武男
1965 尾身 幸男
1966 岩本 信治
1966 浦田 精一
1966 上村 正和
1966 木村左右吉
1966 柴 和利
1966 中村 拓利
1966 原 邦道
1966 本田 信之
1966 松原 浩一
1966 渡辺 邦雄
1966 古賀 紘
1966 小林 克忠
1966 佐藤 勝利
1967 上原 成介
1967 紺屋 隆
1967 布目 潮崇
1967 岡本 泰男
1967 辛島 敬明
1967 小島 一郎
1967 茂木 一男
1967 安藤 建
1968 大山 正雄
1968 金子 充
1968 重村 修二
1968 滝島 正之
1968 五十嵐幸信
1968 池下 克彦
1968 簡野 紀夫
1968 木下 幸秀
1968 塩川 悦男
1968 和田 進一
1969 大野 英夫
1969 小薬 賢一
1969 多田 庸男
1969 南 弘
1969 市川 周平
1969 並木 光雄
1969 酒井 均
1969 福田 末廣
1970 相原 邦男
1970 浅見 憲一
1970 石田 英雄
1970 上田浩四郎
1970 小川 静雄
1970 武田 光雄
1970 播田 光行
1970 藤井 政治
1970 森 敏樹
1970 山下 博司
1970 渡辺 文矢
1970 雨池 一實
1970 鈴木利一郎
1970 中嶋 重男
1970 小磯 章治
1971 遠藤 洋
1971 駒澤 猛
1971 有岡 光男
1971 小川 文夫
1971 勝沼 勝夫
1971 久米 俊夫
1971 前田 道徳
1972 水澤 久夫
1972 青木 行雄
1972 金井康太郎
1973 北川 良治
1973 栗本 茂生
1973 定森 茂
1973 成田 治
1973 横田 仁
1973 石原 正博
1973 海野 豪
1973 皆川 誠吉
1974 海藤 潤二
1974 岡崎 孝宣
1974 大野 好和
1974 山下 晴久
1974 赤沢 房次
1974 佐々木信之
1975 植木 幸裕
1975 唐鎌 貞郎
1975 橋爪 久美
1975 飯野 和広
1976 小野 寛明
1976 高橋 寛仁
1976 大塚 浩一
1976 柴田 誠
1977 佐藤 賢一
1978 平田 三雄
1978 天野 富夫
1979 矢澤 尚彦
1979 平田 秀穂
1979 生沼 浩
1979 北村 友一
1980 岡尾 克彦
1980 長谷部重幸
1980 羽太 勇
1980 畑 淳一
1980 高野 優
1981 黒木 隆明
1981 千賀 吉展
1981 早見 功
1983 石田 和成
1984 湯尾 慶一
1985 海江 秀樹
1987 紫藤 俊郎
1989 森 正樹
1992 森田 耕平
1993 武下 研
1993 當麻 秀樹
1997 榎本 卓晃
1997 一柳 裕昭
1998 白鳥 邦晃
1999 稲葉 誠治
1999 坂口 教子
2000 宮田 恵子
2003 長峯 弘幸
2004 髙橋 謙介
2005 大岩 久峰
2008 岡田 繁宣
2008 稲井 憲二
2010 森 健亮
2012 久保 直紀
2012 朏 謙吉
2014 加田 憲祐
2017 野崎 功旺
2019 村岡 健楠
2019 吉井 一弘
匿名 19件

化学系同窓会

1953 島村 恒夫
1954 丹羽 宏之
1959 萩沢 晃
1960 小熊 重男
1960 高崎 宗利
1960 宮崎 久弘
1960 若栗 徳男
1961 佐藤 昌宏
1961 中尾 猛
1961 佐藤 渉
1961 関根 新一
1962 穐本 佳能
1962 小山内 敏
1962 合田 房雄
1962 佐久間正至
1962 佐藤 浩安
1962 中込 孝之
1962 池田 和正
1962 宇田川伯義
1963 佐藤 俊彦
1963 佐藤 満
1963 馬場 進
1963 松本 武雄
1963 近藤 利夫
1964 佐藤 恵子
1964 杉山 孝一
1964 佐久間守人
1964 湯川 治夫
1965 松原 征志
1965 山崎 哲三
1966 吉川 重克
1966 田辺 清
1966 若松 昭秀
1966 渡辺 麻男
1966 豊島 武
1967 長島 珍男
1967 東條 博典
1968 佐藤 多門
1968 高嶋 廣士
1969 金子 直之
1969 西藤 敏男
1969 岩本 博行
1969 馬鳥 晴夫
1970 菅原 康里
1970 泉 信雄
1970 齋藤 憲一
1970 中山 和夫
1970 松原 進
1970 田中 宣雄
1971 鈴木 和夫
1971 和田 欣也
1971 林 猛
1972 秋田 彰一
1972 月岡 忠
1972 若林 貞由
1972 松村 恵司
1973 菊池 健造
1973 遠藤 雅雄
1973 志村 豊
1973 白井 精滋
1973 浜田 康裕
1973 吉村 裕至
1974 赤羽 彰雄
1974 浅川 哲
1974 菊川 博文
1974 矢ケ崎隆義
1976 乾 義秀
1976 長田 誠
1976 坂野 哲夫
1976 宮下 一義
1977 久慈 英樹
1978 宮坂 金吾
1979 浅利 信博
1979 笠松 憲一
1979 木村 勝
1982 池田 誠
1982 枝光 昇
1982 内堀 路弘
1983 畑 恭一
1987 本山 健
1988 飯嶋 康順
1991 鷹野 直道
1993 島田 博文
1994 宮内 真理
1994 植木 英明
2007 村上俊太朗
2008 三輪 大雅
2012 小暮 裕一
2014 山田 千絵
2015 伊藤 周平
匿名 17件

電気系同窓会

1959 中村 輝一
1959 横塚 謙三
1960 森 茂樹
1960 江袋 林蔵
1960 河本 洋次
1961 玉城 惟好
1962 小川 道雄
1962 加藤 勇
1962 佐藤 英寿
1962 小林 鶴夫
1962 藤村陽一郎
1962 吉岡 道雄
1962 高村 劼
1963 齋藤 茂樹
1963 鮎澤 壽久
1963 柳沼 君忠
1964 福元 儀智
1964 石塚 良昭
1964 上野 絖司
1964 産屋敷和生
1964 梅津 公次
1964 蔭山 洋一
1964 藤堂ひろし
1964 西野 囮勝
1964 渡辺 静雄
1964 池田 誠一
1964 高橋 静昭
1964 長島ひろし
1964 仲原 里治
1964 長嶋 秀世
1964 田中 仁
1964 早川 勝
1964 水江紀久雄
1965 小早川庸行
1965 高田 正稔
1965 藤川 洋
1965 藤保 昇
1966 大塚 正男
1966 松本駿太郎
1966 倉賀野孝行
1966 安田 博一
1967 杉原 精一
1967 南里 義光
1967 木下 鉄男
1967 秋山 仁士
1967 森 信二郎
1968 遠藤 昊
1968 渡辺 光治
1969 笠原 幸兵
1969 藤井 決
1969 荒川 捷英
1969 岡田 清一
1969 井上 公男
1969 三好 和憲
1970 梶 孝秋
1970 来住 康弘
1970 久禮 和彦
1970 小林 啓一
1970 白鳥 敏明
1970 楢本 桂一
1970 小林 利道
1970 藤原 俊男
1970 椋田 實
1970 福田 孝一
1970 芳田眞喜人
1970 甘粕 一彦
1970 新海 昌美
1970 村木 修
1971 小野 彰
1971 金子 博
1971 佐々木三七司
1971 田中 政司
1971 中山 正博
1971 橋本 信一
1971 長谷川 努
1971 藤咲 孝
1971 淵上 洋行
1971 山岸 定男
1971 山崎 繁延
1971 横須賀哲雄
1971 小形 紀弘
1971 知念 利夫
1971 波多野 誠
1971 古沢 良夫
1972 喜納 進
1972 栗原 文雄
1972 竹本 正勝
1972 斉藤 周平
1972 谷尾 俊二
1973 石北 宗一
1973 上野 耕平
1973 音地 寛久
1973 小野 幸男
1973 古賀正一郎
1973 鈴木 幹夫
1973 大野耕市郎
1973 上野 忠明
1974 島林 正美
1974 大久保 清
1974 中尾 英明
1974 南部 高史
1975 工藤 一博
1975 小平 善光
1975 小濱健二郎
1975 徳田 博文
1975 片柳 真吉
1975 藤原 達雄
1975 湯川 良
1975 渡辺 隆秀

1976 吉賀 摂
1977 中田 一寿
1977 新倉 重雄
1977 前田 立雄
1977 稲垣 信夫
1977 中島 健次
1978 佐藤 昌志
1978 日下田 稔
1978 宮島 定明
1978 中井 孝尚
1979 大澤滋太郎
1979 中野 善司
1979 根本 弘道
1979 諸星 佳之
1980 矢吹 定夫
1980 大谷 孝治
1980 藤原 義之
1980 安藤 正巳
1981 竹中 了
1981 道端 順治
1982 水越 芳夫
1983 唐崎 幸弘
1984 相原 一洋
1984 行木 浩
1984 唐崎 明子
1986 佐藤 研一
1986 宮木 義雄
1986 熊坂 巧
1988 稲葉 秀一
1988 加藤 博文
1989 石橋 誠
1989 田中 肇
1989 斎藤 義則
1991 稲葉 正
1991 中村 建輝
1992 清水 泰雅
1995 田中 久弥
1997 森田 謙司
1999 畑名 邦彦
2000 韮澤 一之
2001 竹辺 英昭
2002 中島 淳
2003 國定 義典
2010 坂井 直之
2010 宍戸 正俊
2016 衣川 剛史
2018 柳田 裕太
匿名 34件

建築系同窓会

1959 神前 健
1960 松澤 鷹三
1961 笠松 征郎
1961 鈴木 英一
1962 板谷 信
1962 谷 政美
1962 山田 伸一
1962 山本 海南
1962 西村 輝雄
1963 石川 良男
1963 勝俣 邦雄
1963 高岡 敏夫
1963 高橋 庫治
1964 黒澤 久
1965 澤田 洋二
1965 井澤 浩
1965 山口 利明
1965 長谷川 晃
1966 天野 俊之
1966 大幡 寛
1966 佐藤 紀次
1966 平野 久雄
1966 青木喜代司
1966 山田 雅孝
1966 関 五郎
1967 奥山 俊次
1967 佐藤 亨
1967 真尾 博
1968 内山 一郎
1968 日下部銑五郎
1968 平野 剛
1968 福智 正純
1968 丸山 洋征
1968 西村 倫彦
1968 阿部 信夫
1968 伊庭 孝
1968 原田 照行
1968 田口 達
1969 斎藤 幸一
1969 谷口 宗彦
1969 田野邉幸裕
1969 本澤 宗夫
1969 寺田 初枝
1969 友野 稔
1969 沼尾 俊郎
1969 小松 邦彦
1969 高橋 一元
1969 松本 一男
1969 前田 清行
1969 木村 雅俊
1970 岩瀬 栄子
1970 辻岡 義雄
1970 寺田 正尭
1970 藤沼 憲治
1970 飯田 隆三
1970 小名木朝光
1970 渡部 哲次
1970 勝谷 尚武
1970 平井 真夫
1971 渡辺 史郎
1971 内藤 幹雄
1971 楡井 紀秀
1971 吉田 一男
1971 飯田 和夫
1971 鈴木 公章
1972 濱田 昭夫
1972 田中 幸二
1972 野村 雄悦
1972 村田 正道
1972 大木 幸夫
1973 阿部 信義
1973 上田 卓司
1973 中川 博正
1973 吉田 登
1973 島田 敏幸
1973 高松 良幸
1973 増山 英樹
1973 小島 民久
1974 足立 泰雄
1974 廉沢 映治
1974 木村 薫
1974 楠 昭
1974 河野 工
1974 古賀 誠
1974 篠原 良
1974 比嘉 康夫
1974 平田 洋一
1974 大島 英雄
1974 野口 昭和
1975 小内 實
1975 菅野 茂
1975 高橋 孝栄
1975 高瀬 栄介
1976 井上 保夫
1976 嶋田 修
1976 五月女元良
1976 山越 衛
1976 吉田 進
1977 八重樫義男
1977 谷川 一雄
1978 森 正夫
1979 内野 正之
1979 木村 雄一
1979 猶 克実
1979 関根 久雄
1979 関谷 真一
1979 高木 雅行
1979 黛 邦男
1979 鳥山 富幸
1979 花岡 栄治
1980 関谷 源次
1980 高橋 昭彦
1980 知花 毅
1980 芝口 勝
1981 小俣 光一
1981 山根 秀明
1982 鈴木 敏彦
1983 大谷 孝志
1983 小林 将夫
1984 川上 一盛
1984 中島 浩司
1986 北隅 秀夫
1986 不破 達生
1987 小野里憲一
1987 畑山 芳広
1988 須崎 拓司
1988 松田 隆
1989 聞間 至
1990 村島 正彦
1990 山﨑 和彦
1991 石川 雅博
1991 香川 浩
1991 新海 俊一
1991 渡邉 文博
1992 表俊 博
1992 杉山 正紀
1992 土屋 和男
1992 大塚 洋一
1994 西川 豊宏
1997 古谷 亨
1998 萱沼 宏記
1998 熊川 輝之
1999 佐藤 弘規
2001 塩田 健一
2001 丸山 直之
2006 庄司 豊
2008 與那城健多
2010 野中 英治
2012 仲野 祥平
2013 樋口 彰文
2014 清水 大地
2016 山岸 慧大
2019 岩峰 康大
2019 中島 和也
匿名 28件

高校同窓会

1951 稲葉 勇
1953 中野 喬行
1953 菅原 章之
1956 山口 利明
1957 石渡 秀夫
1957 米沢善治郎
1959 鶴岡 由一
1960 五十嵐 功
1960 鈴木 肇
1960 高木 賢治
1961 三宅 捷夫
1963 鄭 雄飛
1963 小林 保男
1963 篠 欣克
1963 黒米 富雄
1964 倉内 重耐
1965 吉岡 政雄
1966 有岡 光男
1967 星野 明
1968 若林 勝司
1968 塚本 和秀
1972 太田 正利
1974 内野 正之
1974 飯塚 辰典
1974 岡安 彰
1974 河村 重次
1974 本橋真規夫
1976 小口 俊明
1979 堀田 猛
1982 大和 勇記
1991 関谷 茂
2018 寺岡 星悟
匿名 5件

専門学校同窓会

1955 山本 清
1956 小嶋 正夫
1957 加藤 和夫
1958 鍛治倉公幸
1958 梶野 和己
1958 千代田節雄
1959 石川 裕倉
1960 関口 守正
1961 石渡 守
1961 佐久間惣喜
1961 清水 正和
1962 鈴木 勝三
1962 佐藤 敏勝
1962 竹内 幸雄
1962 中山 三男
1963 守屋 隆
1963 豊岡 昭男
1963 岡村 大
1963 千葉 清
1964 石野 赫
1964 田中 實
1964 井筒 威夫
1964 大野 英誠
1966 若杉 吉明
1966 赤木 啓利
1966 石渡 宏侑
1966 小野寺佳子
1966 小林 保弘
1966 畠山 忠弘
1967 田中 良夫
1967 青木 悟
1968 相澤 良夫
1968 川崎 正美
1968 酒井 史生
1968 樋口 幸英
1968 山川 義則
1968 渡辺 征三
1968 須藤 正夫
1968 加藤美恵子
1970 貴船 一夫
1971 篠崎 秀夫
1971 佐藤 幸吉
1971 浦上 信男
1971 井上 忠孝
1971 田島 誠司
1972 細川 信和
1972 森谷順次郎
1972 古山 正文
1973 鎌田 健一
1973 山喜 義則
1974 近藤 松男
1974 狐塚 進一
1974 御旅屋 豊
1974 三輪 和夫
1976 藤田 純一
1977 島森 清
1978 板垣 訓由
1978 井上 博明
1979 桜田 澄麿
1980 石政 忠男
1980 大賀 信之
1981 上田 和幸
1981 関 裕児
1982 菅谷 陽二
1985 櫻井 良尚
1985 広瀬 竜也
1985 杉平 寛
1986 武田 信夫
1986 吉田 和弘
1986 中村 定光
1987 鈴木 靖則
1988 町山 和人
1990 大久保満成
1991 下村 賢司
1993 関田 弘美
1993 田口 勝一
1994 伊藤弘一郎
1995 葉山 恭徳
1996 下川 智則
1996 戸石 洋平
1997 齋藤 研吾
2003 天野 義宏
2006 畠山 史成
2006 長谷川 豊
匿名 8件

企業(代表者)

東洋パイプコンベヤー(有)
機1968 三海 勝弘
(株)吉田建築事務所
一級建築士事務所
建1989 吉田 勝彦
サカグチ設計企画
建1969 坂口 周平
クオリティクリエーション(株)
電1973 小澤 和重
(株)原山設計事務所
専1967 原山 茂
(株)インターナショナル
サーボデーター
榎本 雅之
機1966 榎本 光孝
(有)トータク電機
電1999 若栗 彰一
(株)片桐工務店
建1991 片桐 秀夫
オットーリフト(株)
機1985 高田 秀行
ルート設計(株)
大井 雄司
機1974 大井 一政
(株)豊川設計事務所
建1970 豊川 裕子
中島建築デザイン企画
建1972 中島 範義
(有) FIT
建1985 深谷 嘉樹
(株)シダーグロウ
専1999 小杉 克彦
原アルミ工業(株)
電1971 原 明男
(株)アーキズムあすか設計
建1992 小林 光義
(株)石川建築研究所
建1980 石川 啓司
タマキハウジング(株)
建2002 玉城 英之
(株)時和
電1978 石坂 豊
(株)西村建築設計事務所
建1962 西村 武
(株)鈴木設計事務所
建1972 鈴木 達志
成増不動産
電1963 内田 忠男

団体

樹輪の会
体操部OB会
校友会宮崎県支部

企業・団体は納入日順記載

皆様から納入いただいた維持協力会費は総額200万円を限度に皆様の所属支部へ支援活動交付金として還元しております。
さらに校友会の事業活動費として、学園への援助(新宿祭、八王子祭、夢工祭、ホームカミングデー等)および
学生活動への援助(学園の名誉ある文化、体育関連の学生活動等)に運用活用しております。

皆様のさらなるご協力をいただきたくお願い申し上げます。

建設業を取巻く「労災RISK」と「第三者RISK」をカバーする

オールリスクカバーシステム

労災RISK

従業員または協力業者・一人親方（大工・左官職人・板金職人等が家族で営んでいる方）のケガ等

第三者RISK

お施主様・隣家・通行人等に与えた事故（貴社・協力業者以外）

オールリスクカバーシステムは、Chubb損害保険（株）の業務災害安心総合保険（GPA Pro）と建設Proを組み合わせた商品のペットネームです。

■お問い合わせ（取扱代理店）

株式会社オールジャパンインシュアランスサービス

函館オフィス
〒040-0063 北海道函館市若松町6-7 ステーションプラザ函館7階

URL https://www.ais-hoken.co.jp 0120-116-513

L2010130

■引受保険会社

Chubb損害保険株式会社

本社
〒141-8679
東京都品川区北品川6-7-29 ガーデンシティ品川御殿山

同居者を募集しています。

工学院大学の OB でスタートした「シェアオフィス」です、個人事務所の開設や東京に事務所を持ちたい方々との仲間づくりを目指しています。

事務所の概要

●〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南 3-11-3-208 南阿佐ヶ谷ハイツ 2 階 ●地下鉄 南阿佐ヶ谷駅、JR 阿佐ヶ谷駅、 荻窪駅より 徒歩約 8 分 ●50,000/ 月 ●新たに 3 社程度を募集（業種問いません）
●現在の参加企業（3 社）・鈴木建塗工業 株式会社（所有者）・株式会社 A－CUBE
・株式会社 古山建築計画事務所 ●連絡先：古山（090-1042-1514）

（現在一部改装準備中）

丸大食品

《丸大のギフトは、どなたにも喜ばれます。》

お歳暮・お中元の時期のほか、記念品・新築祝・開店祝
御礼・内祝・快気祝等、いつでもご利用になれます。

丸大食品株式会社　東日本特販営業課
〒135-0051　東京都江東区枝川2-23-2
TEL 03(3647)3270　　FAX 03(3647)3274

KEIO PLAZA HOTEL TOKYO
京王プラザホテル　〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1
TEL.(03)3344-0111　www.keioplaza.co.jp

三和シャッターでは、新たな防水商品として、浸水高さ490mmまで対応できる、
脱着式簡易アルミ防水板「ミリオンガード」をラインアップしました。

簡単取り付け
既存フロントに金具で固定するだけの簡単設置。1人で約3分で取り付け可能です。

工事不要
既存フロントを利用するため事前の工事が不要です。

取り付け後の自動ドア開閉が可能
フロント前面に防水板を固定するため、取り付け後も自動ドアの開閉が可能です。

こんな場所に
●オフィスやマンションのエントランスや店舗出入口
●地下鉄・地下階段の出入口

脱着式簡易アルミ防水板
ミリオンガード

三和グループ　三和シャッター工業株式会社　03-3346-3011

univ. CO-OP

これまでも、そしてこれからも
工学院の皆さんのキャンパスライフをサポートします。

▲八王子食堂部

▼八王子購買書籍部

工学院大学学園生活協同組合

本部
TEL：042-633-9012 / FAX：042-624-5387
E-mail：kogakuin.h@univ.coop
URL：https://www.univcoop.jp/kogakuin/

光を灯す。
新しい価値が、生まれる場所に
みんなが見上げる、その街の象徴に
人々が安心して暮らす毎日に
ずっと続いていく明日に。
私たちは、
総合設備企業の関電工です。

関電工
www.kandenko.co.jp/

身近なシーンから都市のインフラまで
火災から大切な命と財産を守る、能美防災

能美防災は、自動火災報知設備と消火設備のトップメーカーです。
NOHMI 能美防災
代表取締役会長　橋爪　毅（本学生産機械工学科 1967 年卒）
本　　社：〒102-8277 東京都千代田区九段南4丁目7番3号
西関東支社：〒192-0082 東京都八王子市東町2番12号

住宅ローン

優良住宅ローンのフラット35

仮審査やってみたいけど、日中時間がとれないなぁ

弊社では 24 時間 Web 上での事前審査が可能です。
①運転免許証または健康保険証
②前年・前々年度の所得のわかる資料
③物件の価格・大きさや仲介業者等のわかる資料
④ご利用中の既存お借入の資料（車や携帯電話のローン等）
の 4 点をご用意の上、web 上で入力・お申込ください。

住宅ローンってどうやって選べばいいの？

金利のほかに、融資事務手数料・保証金・登記等に必要な諸経費・が融資を受ける際に必要になってきます。また団体信用生命保険や火災保険は必須条件のことも多く、付帯になることも。諸経費は物件よって変わってくるので、どこで借りてもおおよそ同じとすると、比較するべきは、金利・事務手数料・保証金・保険の有無となってきます。金利の数字だけでなく、総支払額（完済までにかかる費用）で比較することをお勧めいたします。フラット 35 は保証金の必要がありません。

金利が上がるのではないかと、心配

フラット 35 なら、最長 35 年固定金利。返済終了までの借入金利と、返済額が確定しますのでマネーライフプランが立てやすいです。

借りる先が大きな会社じゃないと心配。

フラット 35 は、独立行政法人住宅支援機構と金融機関が提携して扱う住宅ローン商品です。どの金融機関で借りても商品は同じ。それぞれの金融機関で金利と事務手数料が設定されており、ご自分に合ったサービスの金融機関をお選びいただきます。弊社の金利と事務手数料は、業界最低水準です（弊社調べ）。

住宅ローンを考え始めた時には、
優良住宅ローンのフラット 35 を
候補の一つに入れて下さい

フラット35専門の会社
株式会社 優良住宅ローン

累積実績 66,946件
累積融資額 1兆8,825億円
2019年末時点

本社所在地　東京都新宿区新宿一丁目3番12号 壱丁目参番館 5 階
電話　03-6457-7451（代表）
代表取締役　田野邉 幸裕【建築学科　昭和 44 年卒業】
登録番号　関東財務局長（5）第 01443 号
日本貸金業協会会員　第 003153 号
設立　2005 年 2 月 25 日
資本金　6 億円

全国に13拠点を展開

全国対応：東京本社・札幌支店・仙台支店・さいたま支店・静岡店・名古屋支店
神戸支店・広島支店・高知店・福岡支店・福岡天神南店・熊本店・鹿児島店

広告募集

『あなたの会社や製品を紹介しませんか？』

本誌は、日本全国で活躍している工学院大学の卒業生を中心に、約71,000人に配布しています。貴社の活動や製品・サービスを紹介してみませんか。

◎募集対象……企業、組織、団体などの広告宣伝など
◎掲載紙 工学院大学校友会報Vol.142
◎発行予定日……2021年3月
◎発行部数……約71,000部
◎主な配布先……工学院大学、工学院大学附属高等学校の卒業生、専門学校の卒業生、卒業生のご父母、現任教員、学園関係者など
◎掲載料金……第２表紙・第３表紙：￥240,000-
本文内：￥90,000-（1/2ページ）／
￥180,000-（１ページ）
◎募集締切り……2021年1月15日

詳細につきましては、工学院大学校友会事務局までお問い合わせください。

記事募集

『近況を校友会報やホームページで紹介しませんか？』

広報部では、校友のみなさまの活動を本誌やホームページを使って紹介するお手伝いをします。支部や同窓会、同期会主催のイベント案内、参加者募集や楽しかった活動の報告など、お気軽にお知らせください。

また、校友のみなさまがご執筆された書籍の紹介もいたします。

詳細につきましては、工学院大学校友会事務局までお問い合わせください。

編集後記

校友の皆様のご支援により、今年も校友会報をお届けできることとなりました。本号は、令和最初の校友会報です。皆様におかれましては、新しい時代を迎え、正月には様々な目標を定めて新たなスタートを切られたことと思います。

今年は1964年以来、56年ぶり2度目の夏季オリンピックが東京を中心に開催予定で、日本全体にとっても大きな1年となることでしょう。一方、年明けより、新型コロナウィルスの猛威が世界を駆け巡り、国内では入学試験、就職活動、交通流動、国際交流など、多数の人の離合集散を伴う社会活動にも多大なる影響が発生しています。世界規模の経済活動、社会活動への中長期的な影響も懸念され、世界の人々が、グローバル社会の公衆衛生について考える契機となっています。人命を守り、経済を安定化させるためにも、早期の事態収束が期待されます。校友の皆様も感染予防にはくれぐれもご留意ください。

さて、今年の11月には「日本一のおんせん県」である大分県別府市で第19回 校友会全国大会（大分大会）が行われます。多くの皆様にご参加いただき、全国有数の温泉地で校友間の親睦・交流をお願いいたします。

校友会広報部は、今後も校友の皆様にとって有益な情報を提供するべく校友会報の編集作業に取り組んでまいります。

最後に、本誌の発行に多大なるご支援・ご協力をいただきました学園理事長、大学学長、附属中学校・高等学校長、各同窓会長、原稿をご執筆いただいた校友各位、ならびに広告を出稿いただいた企業各社に、この場を借りてお礼を申し上げます。

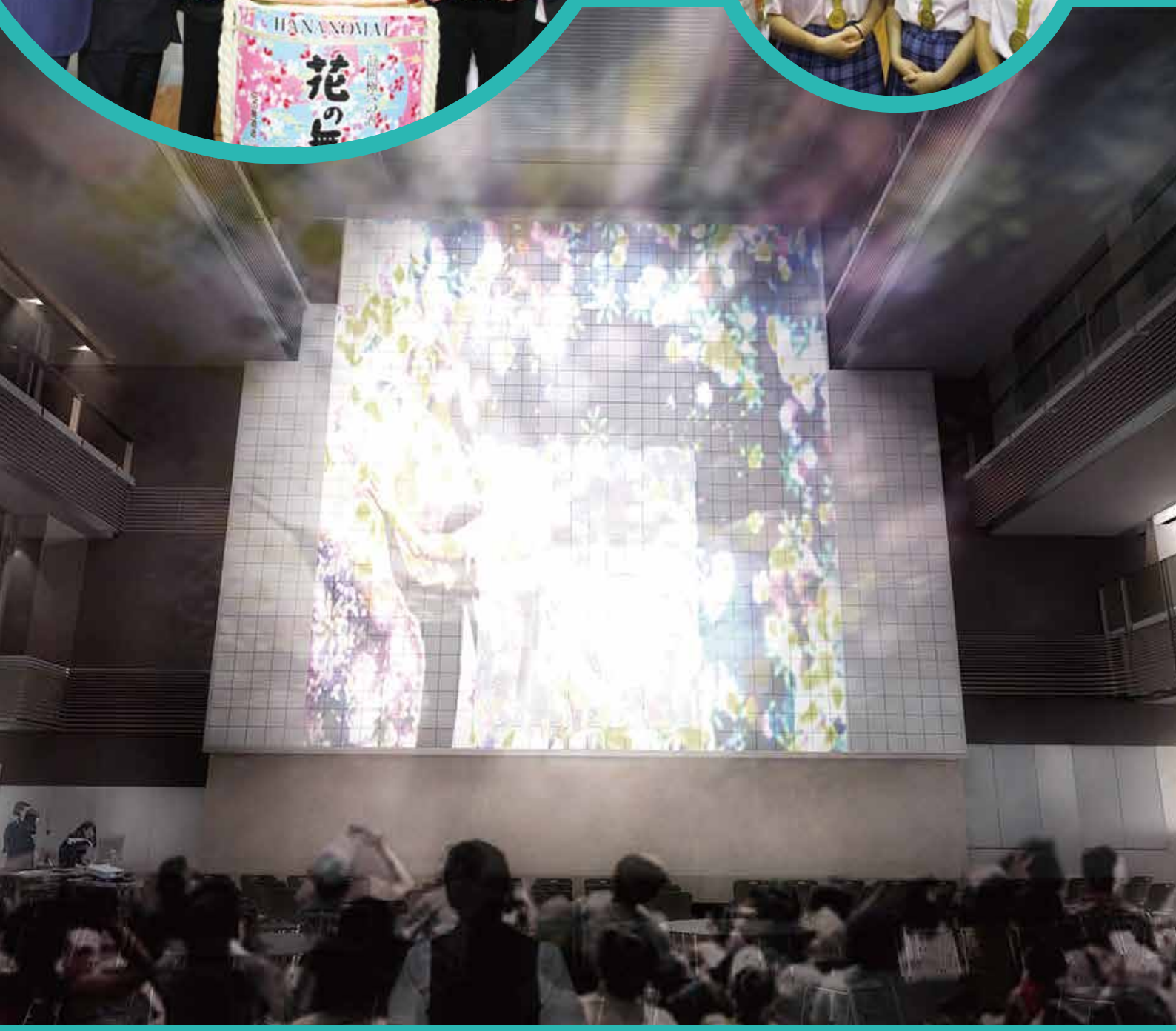
工学院大学
校友会報
vol.141

発行日● 2020年3月16日
発　行● 一般社団法人工学院大学校友会
住　所● 〒163-8677　東京都新宿区西新宿1-24-2
電　話● 03-3342-2064／03-3340-1649
ＦＡＸ● 03-3342-2035
メール● jimukyoku@kogakuin.or.jp

編　集● 一般社団法人工学院大学校友会　広報部
[部　長]関谷 源次（建築）
[副部長]平山 徹夫（専門）
[部　員]唐鎌 貞郎（機械）、坂口 教子（機械）
茅野　昭（化学）、名取 勝敏（電気）
新海 俊一（建築）、田中 元樹（高校）
山上 祐介（専門）、甘粕 一彦（電気）

印刷・製本・制作●図書印刷株式会社
制作協力● 中日本企画舎（株）

工学院大学校友会のホームページはこちらから
http://www.kogakuin-koyukai.jp/



工学院大学
KOGAKUIN UNIVERSITY

携帯スマホは
こちらから
アクセス！

工学院大学校友会

最新情報・イベント情報は
こちらでチェック！